

第4章 作ったパターン、ソングデータを保存しよう (ユーティリティ1)

ユーティリティについて

4/ ユーティリティモードは、パターンモードやソングモードに含まれない色々な付加機能を設定するモードで、この章で紹介するデータを保存する機能等の他にも、RY10を操作する上での便利な機能がまとまっています。RY10でどのような機能が設定できるかは、下のユーティリティの一覧をご覧ください。

<ユーティリティの一覧表>

コマンド		設定できるもの	設定方法	参照、ページ
TEMPO		システム钟の設定	△ / ▽	107
PAD SELECT		パッドバンクの切り替え	△ / ▽	118
PAD LEVEL		A～Lのパッドレベルの設定	△ / ▽	120
BASS MUTE		ベース音のミュートの設定	トグル オン/オフ	108
FOOT SW		フットスイッチの設定	-1/+1	109
(10) EDIT	ボイスアサイン	音色の割り当ての設定	< / > & -1/+1 または START/GO	122
	アクトレベル	アクトレベル付時の変化の設定		124
	バウ	音の定位の設定		126
	チューン	各パッドの音程の設定		128
	チェイス	パッドバンクの自動変更の設定		132
	パッドバンクのコピー	パッドバンクのコピーの設定		130
TAPE	セーブ	データの保存の設定	< / > & START/GO / STOP/CONT	100
	ベリファイ	データの保存の確認の設定		102
	ロード	データの読み込みの設定		104
MIDI	ドラム受信チャンネル	ドラムの音源として使うための設定	< / > & -1/+1	156
	ベース受信チャンネル	ベースの音源として使うための設定		158
	プログラムチェンジ受信チャンネル	音色を外からコントロールするための設定		160
	MIDIノートナンバー	ドラムの音源として使うための設定		162
	MIDIソック	外部MIDI機器との同期演奏の設定		154
TRANSPPOSE		入力済すべての音の移調の設定	-1/+1	144
TUNER		サウのチューニングの設定	-1/+1 または START/GO / STOP/CONT	111

※ ユーティリティモードは、どのモードからでもコマンドを直接選ぶことができます。ただし、TAPE、MIDI、TUNERだけは、パターンモードやソングモードでプレイしている時やレコードしている最中には選べません。

1. データを保存 (セーブ)

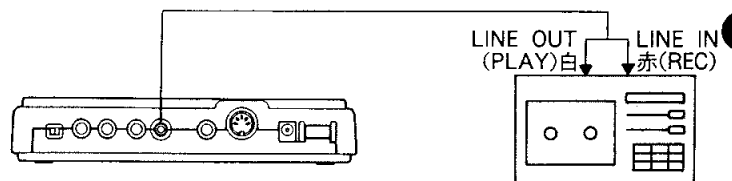
データを保存 (セーブ)		
機能	TAPE 端子からカセットテープに全データを保存する。	
設定	SAVE	

解説

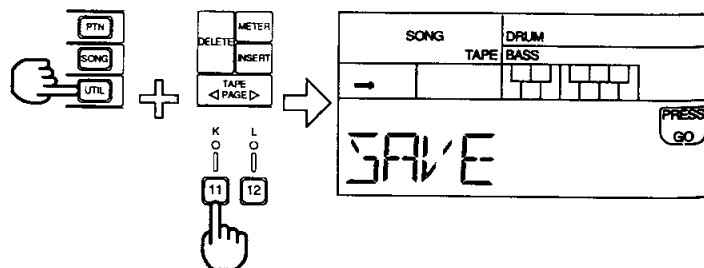
RY10で作ったパターンデータやソングデータ、キーパッドの設定等をカセットテープに保存しておくことができます。本体のTAPE端子 (Lch = 出力用、Rch = 入力用) は、ミニ・ステレオ・フォンジャックになっています。

手順

- ① 本体のTAPE端子 (Rch) とカセットレコーダのLINE IN端子を接続します。



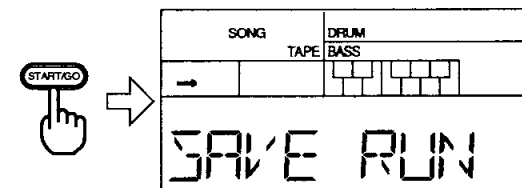
- ② UTILキーを押しながら [11] または [12] (TAPE) を数回押してセーブにします。



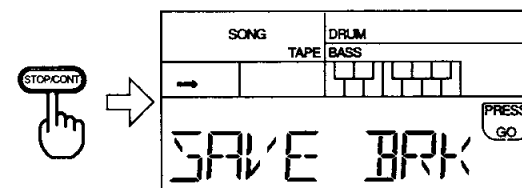
- ③ カセットレコーダの録音を開始します。

1. データを保存 (セーブ)

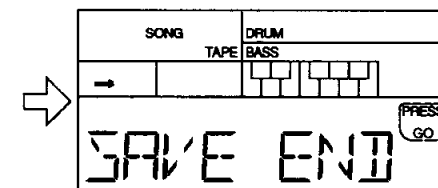
- ④ START/GOキーを押すとデータの送りだしが開始されます。



STOP/CONTキーを押すと中断します。データセーブを中断すると次のように表示されます。

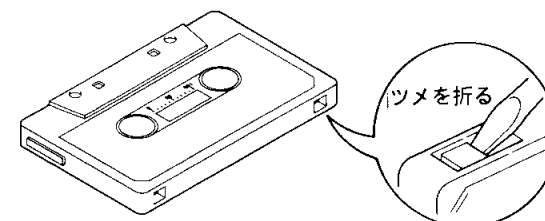


- ⑤ 保存が終了したら、カセットレコーダのストップボタンを押します。



- ⑥ 他のモードを選ぶとセーブから脱げることができます。

大切なデータはセーブ後必ずベリファイの作業を行ない、ベリファイの後誤って消してしまわないようにカセットテープの録音防止つめを折っておきましょう。



パターン、ソングの演奏中やリアルタイムライト中には設定できません。

2. データ保存の確認 (ベリファイ)

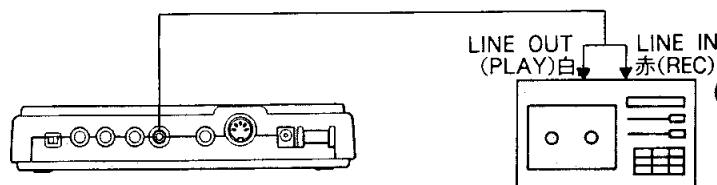
データ保存の確認 (ベリファイ)		
機 能	カセットテープに全データが保存できたか確認する。	
設 定	VRFY	

解 説

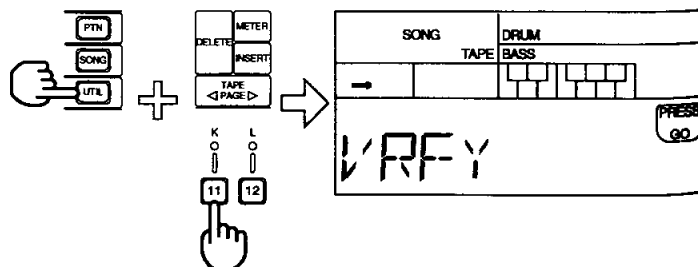
カセットテープに正しく記憶されているかどうか確認するための機能です。データをセーブした後は必ず行ってください。

手 順

- ① 本体のTAPE端子 (Lch) とカセットレコーダのLINE OUT端子を接続します。



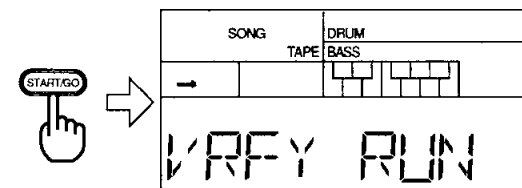
- ② UTILキーを押しながら [11] または [12] (TAPE) を数回押して、ベリファイにします。



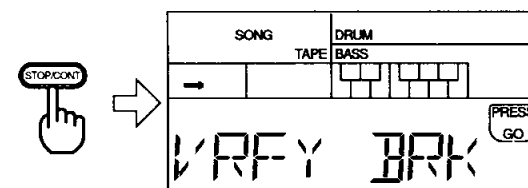
- ③ カセットテープを巻戻して頭出しをしたら、カセットレコーダの再生ボタンを押します。

2. データ保存の確認 (ベリファイ)

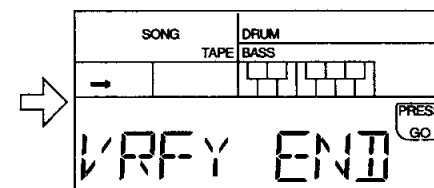
- ④ START/GOキーを押すとデータの確認が開始されます。



STOP/CONTキーを押すと中断します。ベリファイを中断すると次のように表示されます。



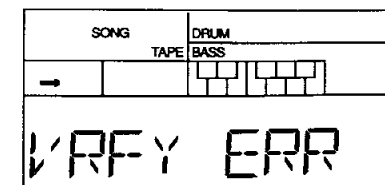
- ⑤ データの確認が終了したら、カセットレコーダのストップボタンを押します。



- ⑥ 他のモードを選ぶとベリファイから脱けることができます。

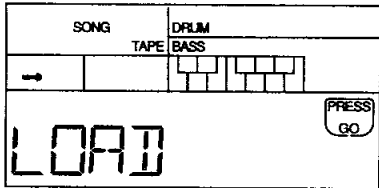


VRFY ENDと表示されれば、データは正しく保存されていますが、VRFY ERRと表示された場合は、データの保存が正しくされていないので、もう1度録音レベル等を再調整してデータの保存をやり直してください。



パターン、ソングの演奏中やリアルタイムライト中には設定できません。

3. データを本体に読み込む（ロード）

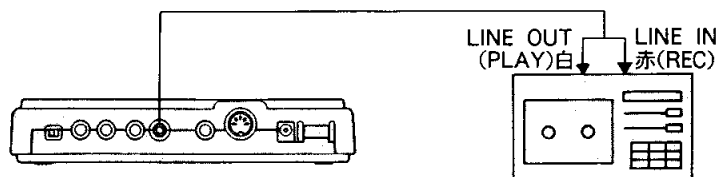
データを本体に読み込む（ロード）		
機能	カセットテープに保存したデータを本体に戻す。	
設定	LOAD	

解説

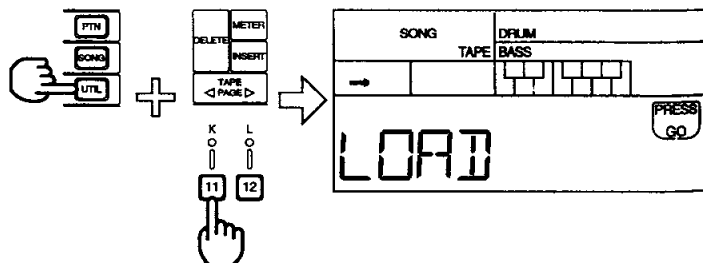
テープに記憶されているデータを本体に戻す機能です。この作業を行うと本体の中のデータが消え、カセットテープに以前セーブしたデータが再現できるようになります。

手順

- ① 本体のTAPE端子（Lch）とカセットレコーダのLINE OUT端子を接続します。

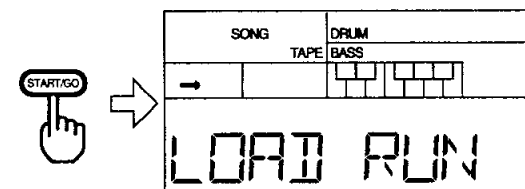


- ② UTILキーを押しながら [11] または [12] (TAPE) を数回押してロードにします。



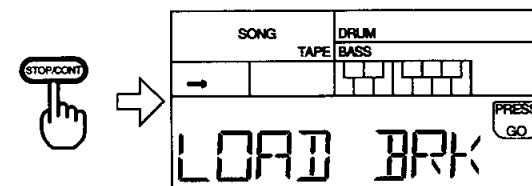
3. データを本体に読み込む（ロード）

- ③ START/GOキーを押すとデータのロードが開始されます。

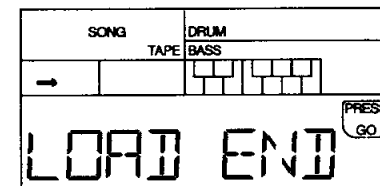


- ④ カセットレコーダの再生ボタンを押します。

STOP/CONTキーを押すと中断します。ロードを中断すると次のように表示されます。ロードを始めて途中で中断すると、メモリが初期化され工場出荷時の状態になります。

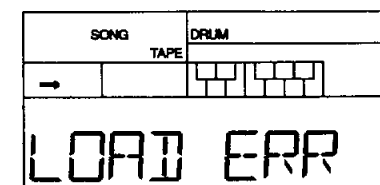


- ⑤ データの読み込みが終了したら、カセットレコーダのストップボタンを押します。



- ⑥ 他のモードを選ぶとロードから脱げることができます。

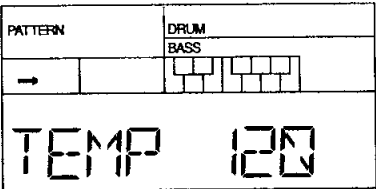
何らかの理由でデータが壊れている場合やデータロードに失敗した時には、次のように表示され、メモリが初期化され工場出荷時の状態になります。



パターン、ソングの演奏中やリアルタイムライト中には設定できません。

1. テンポの設定 (システムテンポ)

テンポの設定 (システムテンポ)

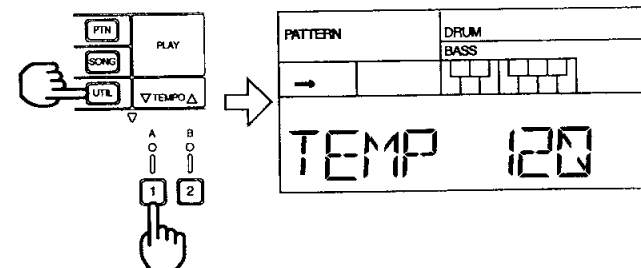
機 能	システムテンポの設定		
	設 定	TEMPO 040~250	

解 説

パターン、ソングの再生録音のテンポを調節することができます。

手 順

① UTILキーを押したまま、[1] または、[2] を押してシステムテンポの設定をします。



テンポは [1] を押すと遅くなり、[2] を押すと速くなります。



② UTILキーから手を離すと操作前の状態に戻ります。

パターンやソングの演奏中やステップライト、リアルタイムライト中にもテンポを設定する事ができます。

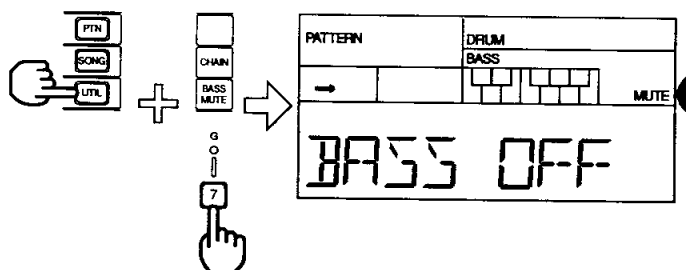
システムテンポとは、RY10 本体のテンポデータで、パターンやソングのイニシャルテンポとは別のものです。イニシャルテンポの設定がされていると、パターンやソングをスタートした時システムテンポの設定は無効となります。

2. ベースパートのミュート

ベースパートのミュート																						
機能	パターン、ソングのベース出力をミュートする。	<table><tr><td colspan="2">PATTERN</td><td colspan="2">DRUM</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">BASS</td></tr><tr><td>→</td><td></td><td><table><tr><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td></tr></table></td><td>MUTE</td></tr></table>	PATTERN		DRUM				BASS		→		<table><tr><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td></tr></table>	□	□	□	□	□	□	□	□	MUTE
PATTERN		DRUM																				
		BASS																				
→		<table><tr><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td></tr></table>	□	□	□	□	□	□	□	□	MUTE											
□	□	□	□	□	□	□	□															
設定	BASS ON, BASS OFF (MUTE)	<table><tr><td colspan="8">BASS OFF</td></tr></table>	BASS OFF																			
BASS OFF																						

解説 RY10はベースパートの出力をミュート（無音）状態にすることができます。

手順 ① UTIL キーを押しながら [7] (BASS MUTE) を押し、ベースパート出力を OFF に設定します。






UTIL キーを押しながら [7] を押すごとにベースパート出力の ON、OFF が切り替わります。

演奏中にベースパートの出力状態を設定する事もできます。

パターンやソングの再生中、録音中にもベースパートのミュートを設定することができます。

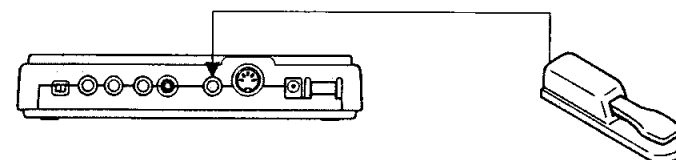
3. フットスイッチでのコントロール

フットスイッチでのコントロール														
機 能	フットスイッチの機能を設定する	<table><tr><td colspan="2">PATTERN</td><td colspan="2">DRUM</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">BASS</td></tr><tr><td>→</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	PATTERN		DRUM				BASS		→			
PATTERN		DRUM												
		BASS												
→														
設 定	FOOT SW	STOP, FILL, NEXT												

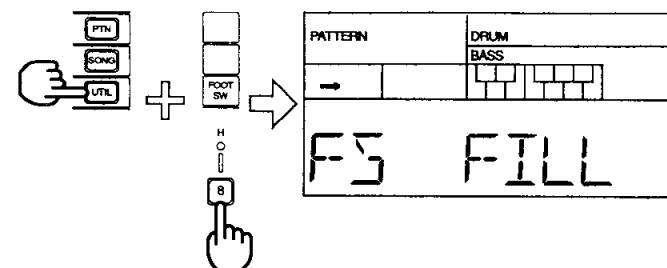
FS	NEXT
----	------

解説 フットスイッチを踏むことで、演奏のスタートやストップ、フィルのオン、次のパターンや次のソングの呼びだしをコントロールします。

手順 ① FOOT SW 端子にフットスイッチ（別売 FC4 または FC5）を接続します。

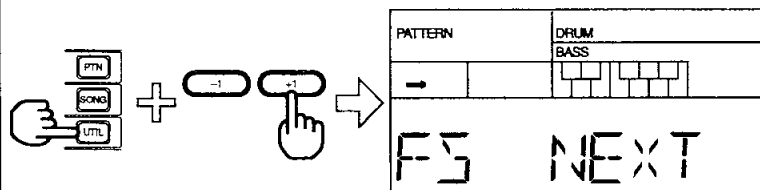


② UTIL キーを押しながら [8] (FOOT SW) を押すと、フットスイッチの設定状態が確認できます。



3. フットスイッチでのコントロール

- ③ UTILキーを押したまま、-1/+1キーを押してフットスイッチの機能の設定をします。



- ④ UTILキーを離すと元のモードにもどります。



NEXTを設定した場合、パターンプレイの時は、演奏中のパターンの終りまで演奏してから次のパターンが演奏されます。ソングプレイの時は、演奏中のパートのパターン再生後に次のソングの演奏を行います。



パターンやソングの演奏中やステップライト、リアルタイムライト中にもフットスイッチを設定する事ができます。

FOOT SW	効 果
STOP	1回踏むと スタート 2 回 目 ストップ
FILL	1回踏むと スタート 2回目以降 FILL ON
NEXT	1回踏むと スタート 2回目以降 NEXT

4. チューナー機能

チューナー機能

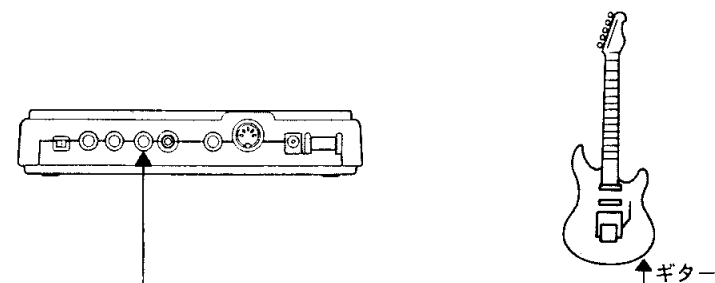
機 能	INPUT 端子から入力されるアナログ信号のピッチを測定する。	PATTERN	DRUM BASS
		-	
設 定	TUNER A3 440~445Hz	TUNER ---	

解 説

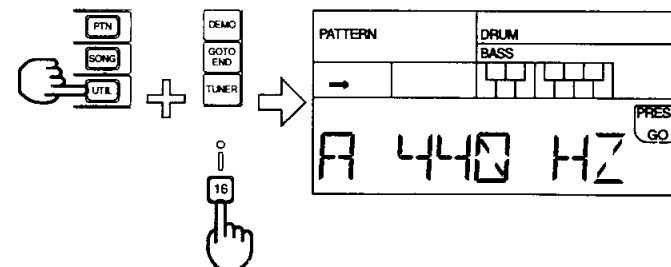
RY10にはチューナー機能がありますので、ギターの手uningを行うことができます。

手 順

- ① INPUT 端子にギター等を接続します。



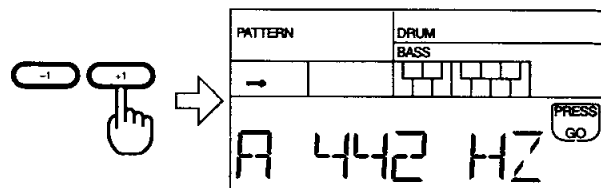
- ② UTILキーを押しながら [16] (TUNER) を押します。



- ③ -1/+1キーを押して基準ピッチを設定します。

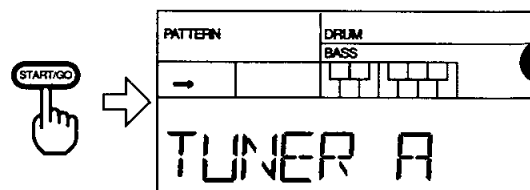


基準ピッチの設定はA3 = 440Hz~445Hzの範囲で、-1キーを押すごとに基準ピッチは低くなり、+1キーを押すごとに基準ピッチは高くなります。

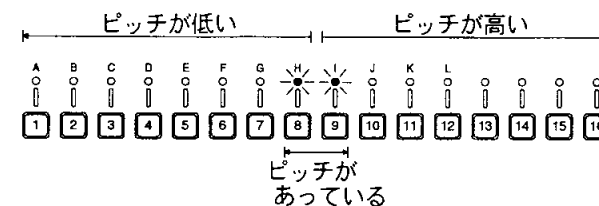


- ④ START/GOキーを押してチューニングを開始します。

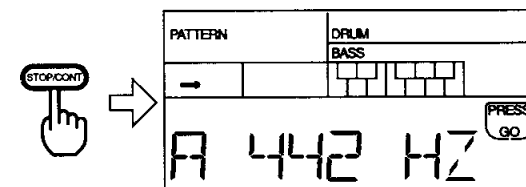
INPUT端子に接続してある楽器を弾くとピッチ (音程) を判断し、ディスプレイに表示します。



○LEDの点灯によりチューニングのずれを確認することができます。ビートキーの8、9の上の○LED表示が点灯すればピッチが合っていることを示します。1~8の上の○LED表示のどれか1つが点灯すればピッチが低いことを示し、9~16の上の○LED表示のどれか1つが点灯すればピッチが高いことを示します。



- ⑤ STOP/CONTキーを押すと基準ピッチ設定表示に戻ります。



(1)



基準ピッチを再度変更したい時は、③の操作を、再度チューニングを行う時は④以降の操作を行ってください。

パターン、ソングの演奏中やリアルタイムライト中には設定できません。

- ⑥ チューナー機能を終了したい時は、他のモードを選びます。

応用編

第6章	パッドの設定	117
第7章	複雑なリズムパターンの作り方	135
第8章	MIDI機能の使い方.....	152

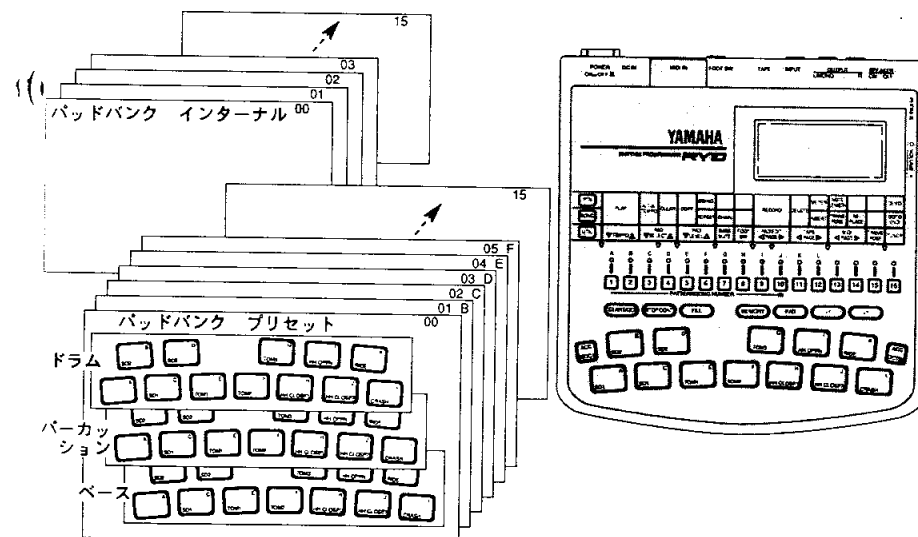
1. パッドバンクについて

RY10には250種類の音色が内蔵されており、トップパネルの12のパッドで演奏することができます。

パッドバンクには、プリセットと呼ばれる工場出荷時より本体にプログラムされていて変更ができないものと、インターナルと呼ばれる音色の設定やパッド配置の変更が自由に行えるものがあります。

パッドバンクの数は、プリセット、インターナルそれぞれ16個ずつあります。1つのパッドバンクに入っている25種類の音色は、ドラム(12種類)、パーカッション(12種類)、ベース(1種類)という3つの音色グループに分かれています。

パッドは、12個しかありませんが、パッドバンクと音色グループの切り替えで全ての音色が選べます。



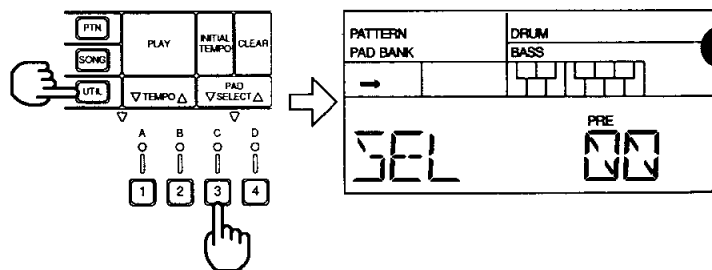
01: パッドバンクの切り替え (パッドセレクト)			
機 能	パッドバンクの選択		
設 定	PAD SELECT	PRE 00~15 INT 00~15	

解 説

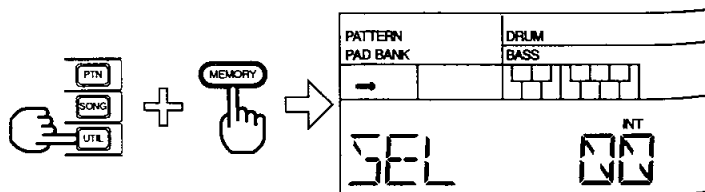
パッドバンクの切り替えを行う機能です。この機能を使うと、プリセットとインターナルの32種類のパッドバンクプログラムを自由に呼び出せます。

手 順

① UTILキーを押しながら [3] または [4] (PAD SELECT) を押して、パッドセレクトにします。

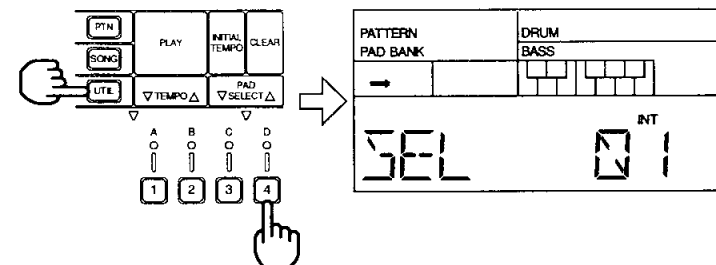


② UTILキーを押したまま MEMORYキーを押して、パッドバンクの種類を設定します。



MEMORY キーは押すごとにインターナルとプリセットの切り替えを行います。

③ UTIL キーを押したまま [3] または、[4] を押してパッドバンクナンバーを設定します。



[3] を押すごとに-1 ずつ、[4] を押すごとに+1 ずつパッドナンバーを変更します。

④ UTIL キーから手を離すと操作前の状態に戻ります。

- ・同じパッドバンク内の音色グループの変更方法は「色々な音を聴いてみよう」を参照 (P22)
- ・プリセットパッドバンクリストは171 ページを参照

パターンやソングの演奏中やステップライト、リアルタイムライト中にも設定することができます。

02 : 音量を変える (レベル)

機能	パッドの音量を設定する	
設定	PAD LEVEL	-7~+7

PATTERN
PAD BANK

DRUM
BASS

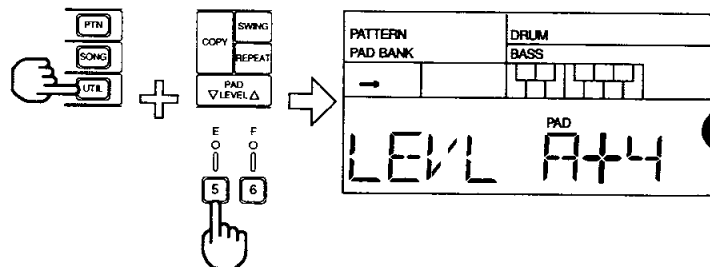
PAD
LEVEL A+4

解説

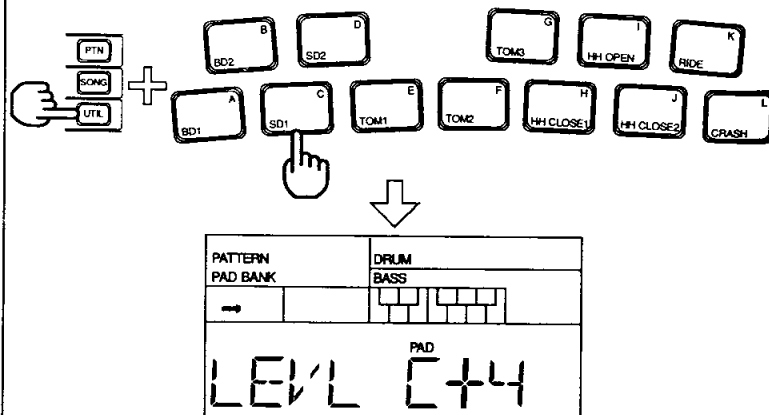
パッドに割り当てた音色の音量を設定します。

手順

- ① UTIL キーを押しながら [5] または [6] (PAD LEVEL) を数回押して、音量の設定にします。

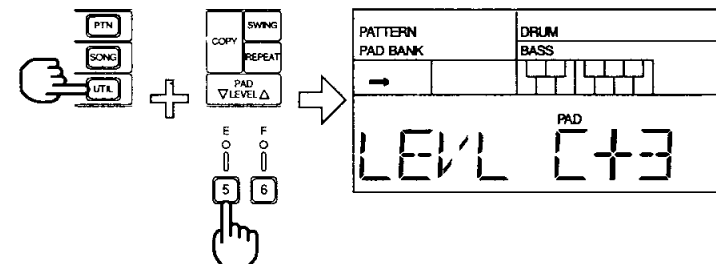


- ② UTIL キーを押したまま、音量を変えたいパッド (A~L) を押し、パッドの指定を行います。



UTIL キーとパッドを押したままの状態、パッドに割り当てられた音色が表示されます。

- ③ 音量は UTIL キーを押したまま [5] を押すごとに小さくなり、[6] を押すごとに大きくなります。



- ④ UTIL キーから手を離すと操作前の状態に戻ります。

プリセットパッドバンクの各パッドの音量は変更できません。
パターンやソングの演奏中やステップライト、リアルタイムライト中にも設定できます。
パッドレベルは、DRUM、PERC の 2 グループはパッドごとに設定できます。
BASS のグループは、12 パッドで 1 つのパッドレベルを設定できます。

03: パッドに好きな音色を割り当てる (ボイスアサイン)

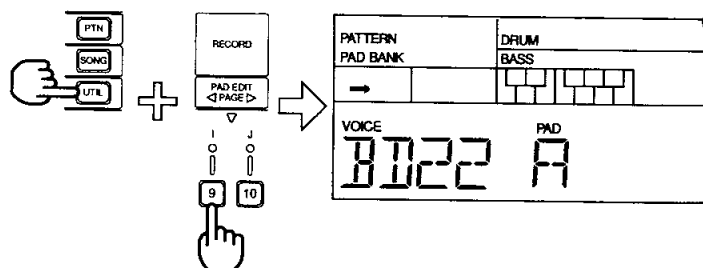
機 能	パッドにボイスを選ぶ	<div> PATTERN PAD BANK → </div> <div> DRUM BASS </div>
設 定	VOICE 241音色 (DRUM・PERCグループ) 9音色 (BASSグループ)	<div> VOICE 8022 PAD A </div>

解 説

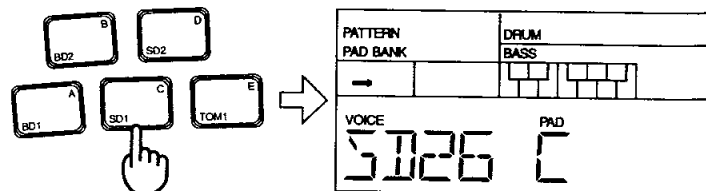
インターナルパッドバンクの各パッドに、内蔵されている250種類の音色の中から好きな音色を割り当てることができます。

手 順

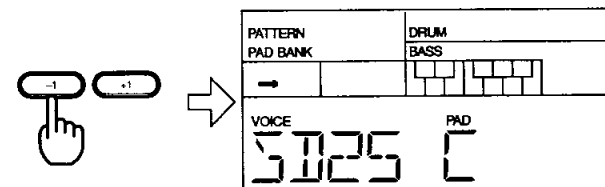
- ① 音色を設定したいパッドバンクを選択します。
- ② UTIL キーを押しながら [9] または [10] (PAD BANK EDIT) を数回押し、ボイスアサインにします。



- ③ 音色を割り当てたいパッドグループを選び、該当するパッドを押し、パッドの指定を行います。



- ④ -1/+1キーを数回押して、パッドに設定したい音色をたたきながら選びます。



-1/+1キーを押すごとに音色が変わっていきます。

各パッドには、A～Lまでのアルファベットがふられています。パッドの指定をすると、該当するアルファベットが表示されます。

プリセットパッドバンクの各パッドの音色は変更できません。

パターンモードやソングモードで演奏している時やステップライト、リアルタイムライト中にも設定できます。



パターンモードでリアルタイムレコーディングの最中にボイスアサインに入ると、クリックを鳴らしたまま音色を選び直すことができます。(ボイスアサイン中のデータは入力されません。)

04 : アクセントを付けた時の音量の変化を設定する (アクセントレベル)

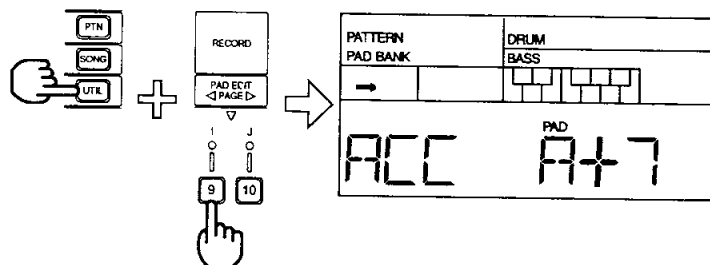
機能	パッドにアクセントレベルを設定する	
設定	ACCENT	-7~+7

解説

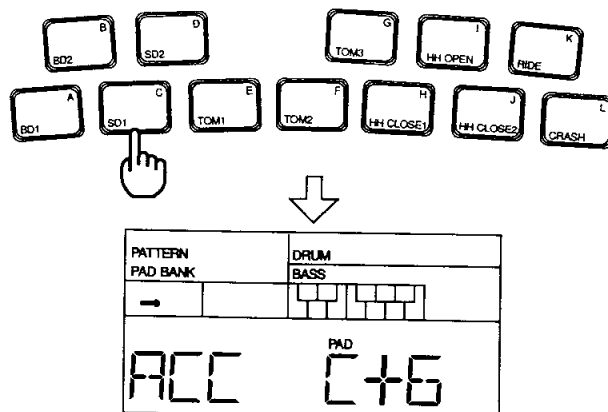
アクセントを付けたときの音量の変化の設定です。音量 (レベル) の値にアクセントレベルを加えた音量で鳴ります。

手順

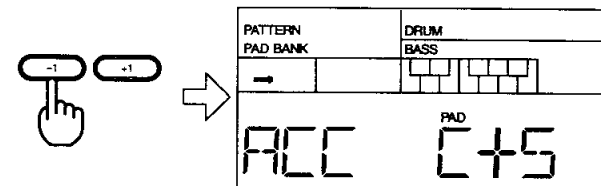
- ① UTILキーを押しながら [9] または [10] (PAD EDIT) を数回押して、アクセントレベルにします。



- ② アクセントレベルを変えたいパッドを押し、パッドの指定を行います。



- ③ -1/+1キーでアクセントを付けた時の変化を設定します。



アクセントレベルを負の値にすると、音量は小さくなり、正の値にすると大きくなります。値を0にするとパターン入力時にアクセントを設定しても音量は変わりません。また、パッドの音量が最大値になっている場合には、アクセントレベルを正の値にしてパターン入力時にアクセントを設定しても音量は変わりません。



アクセントの入力の方法は

- ・「パターンのリアルタイムライト」を参照 (P52)
- ・「パターンのステップライト」を参照 (P56)
- ・「クレシェンドの入力」を参照 (P148)
- ・パッドの音量の設定は「音量を変える」を参照 (P120)



パッドを押したままの状態、パッドに割り当てられた音色が表示されます。プリセットパッドバンクの各パッドのアクセントを付けた時の音量の変化の設定は変更できません。

ACC/◀OCTキーとACC/OCT▶キーは、同じ働きになります。

パターンやソングの演奏中やステップライト、リアルタイムライト中にも設定できます。

05 : 音の定位を変える (パン)

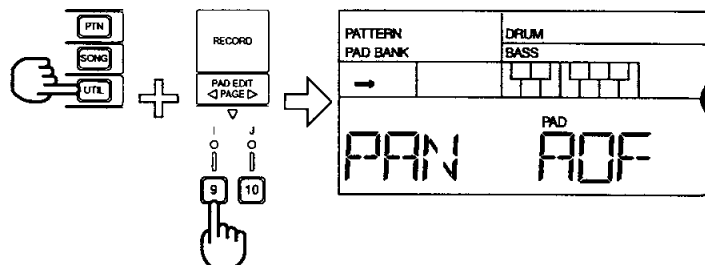
機能	パッドのパンを設定する	<div> <div>PATTERN PAD BANK</div> <div>DRUM BASS</div> <div>PAN</div> <div>PAD</div> <div>AO F</div> </div>
設定	PAN OF, -7~+7	

解説

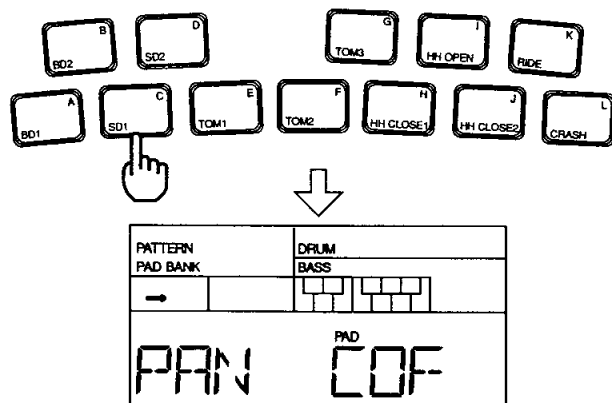
ステレオ出力した時、キーパッドに割り当てた音色の音像定位 (パン) の設定をすることができ、音に広がりをもたせることができます。

手順

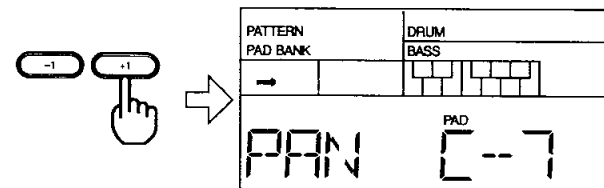
- ① UTIL キーを押しながら [9] または [10] (PAD EDIT) を数回押して、パンにします。



- ② 音の定位を変えたいパッドを選びます。



- ③ -1/+1 キーで音の定位を設定します。

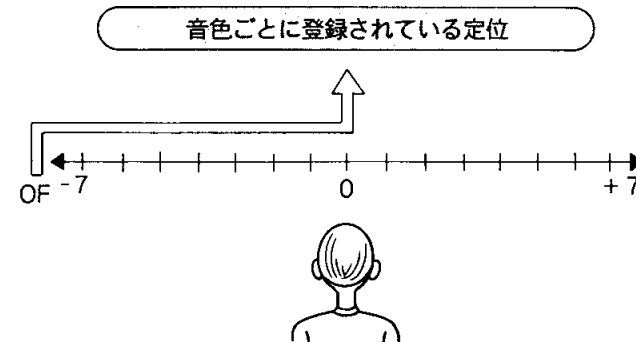


設定値は、0で中央、-方向が左側、+方向が右側になります。OFF (表示はOF) にすると音色ごとに登録されている定位になります。音色によっては、左右に広がっているものもあり、これらを使う場合には設定をOFFにします。定位を設定すると左右に広がる効果は得られません。

パッドを押したままの状態、パッドに割り当てられた音色が表示されます。

プリセットパッドバンクの各パッドの音の定位は変更できません。

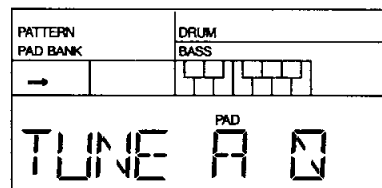
パターンやソングの演奏中やステップライト、リアルタイムライト中にも設定できます。



06: 音程を変える (チューン)

機能 パッド音色の音程を設定する

設定 TUNE -7~+7

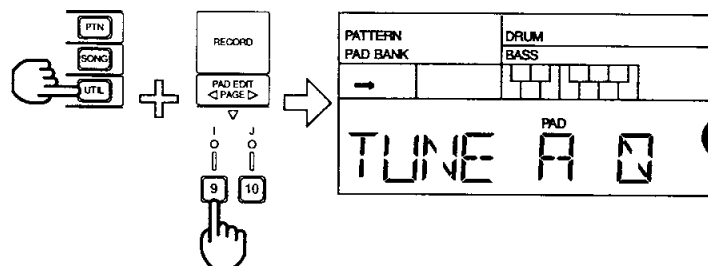


解説

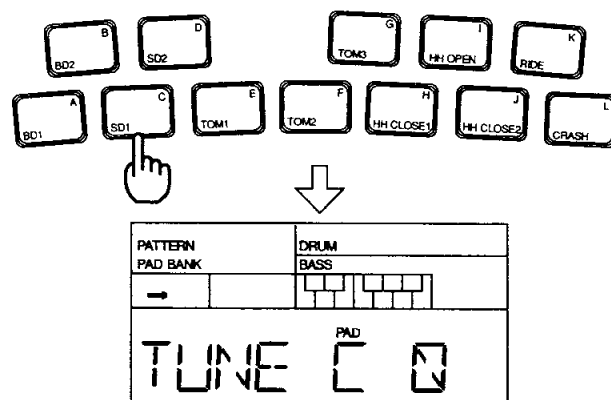
パッドに割り当てた音色の音程微調整機能です。

手順

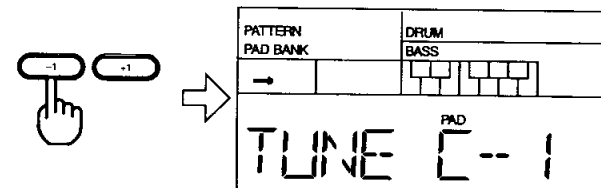
- ① UTILキーを押しながら [9] または [10] (PAD EDIT) を数回押して、チューニングにします。



- ② チューニングを変えたいパッドを選びます。



- ③ -1/+1キーでチューニングの微調整を行います。



チューニングは、負の値にすると低く、正の値にすると高くなり、値を0にするとプリセットされている音程になります。

パッドを押したままの状態、パッドに割り当てられた音色が表示されます。

プリセットパッドバンクの各パッドのチューニングは変更できません。

パターンやソングの演奏中やステップライト、リアルタイムライト中にも設定できます。

07: パッドバンクのコピー

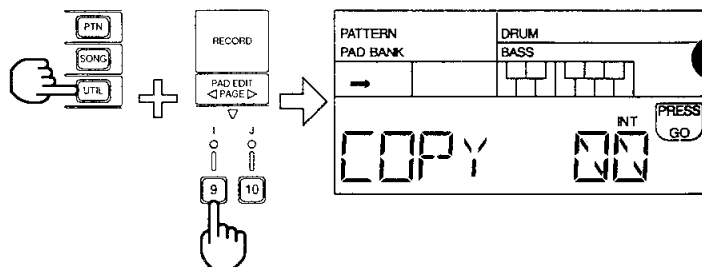
機 能	パッドバンクをコピーする	
設 定	COPY INT 00~15	

解 説

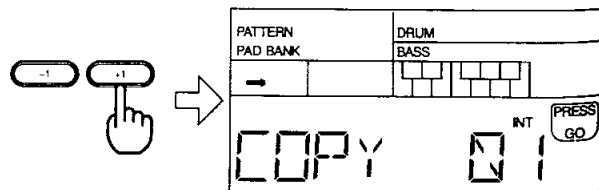
パッドバンクのコピーを行う機能です。類似した音色が割り当てられているパッド（パッドバンク）を作るのに便利です。

手 順

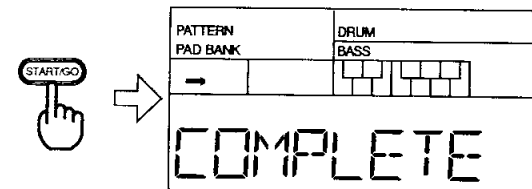
- ① コピー元となるパッドバンクを選択します。
- ② UTILキーを押しながら [9] または [10] (PAD EDIT) を数回押し、コピーにします。



- ③ -1/+1キーを数回押して、コピー先のパッドバンクナンバーを設定します。



- ④ START/GOキーを押すとコピーされます。



プリセットはパッドバンクのコピー先としては選べません。

パターンやソングの演奏中やステップライト、リアルタイムライト中にも設定できます。



コピー元のパッドバンクを指定しないでコピー機能を選んだ場合 (①の操作をせずにいきなりコピー機能を選んだ場合)、コピー元のパッドバンクは直前にパッドバンクの切り替えで指定したパッドバンクになります。

08: パッドバンクの自動切り替えを設定 (チェイス)

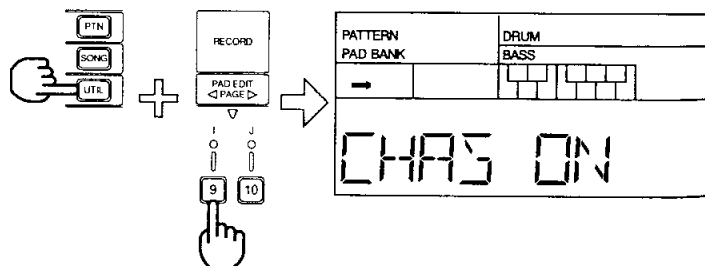
機 能	パッドバンクのチェイス機能を設定する	<div> <div> PATTERN PAD BANK </div> <div> DRUM BASS </div> </div>
設 定	CHASE ON, OFF	

解 説

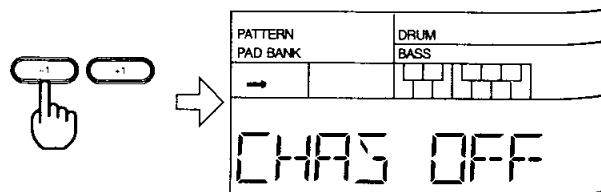
パターンごとにパターン入力時に設定したパッドバンクの音色で自動的に鳴るように設定する機能です。各パターンデータには、パターン作成時に最後に使用したパッドバンクが自動的に記憶されます。この機能をONにするとパターンを演奏する時に自動的にパターン作成時に設定したパッドバンクが呼び出されその音色で演奏されます。OFFにすると現在選ばれているパッドバンクで演奏されます。通常はONにして使用します。

手 順

- ① UTILキーを押しながら [9] または [10] (PAD EDIT) を数回押し、チェイスにします。



- ② -1/+1キーでチェイス (パッドバンクの自動切り替え) のON、OFFを設定します。



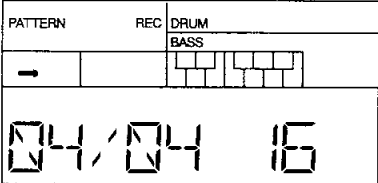
チェイス (パッドバンクの自動切り替え) はONの時有効です。OFFの時は、現在設定されているパッドバンクの音色で鳴ります。

パターンやソングの演奏中やステップライト、リアルタイムライト中にも設定できます。

1つのパターンデータの中に使えるパッドバンクは1つです。パターンデータに記憶するのはパッドナンバーで音色ナンバーではありません。つまり、1つのパターンの中には、選ばれているパッドバンクの DRUM、PERC系の24音色と BASS1 音色しか使用できません。

1. 複雑なリズムパターンの作り方

01 : 拍子と最小音符の設定 (メーター)

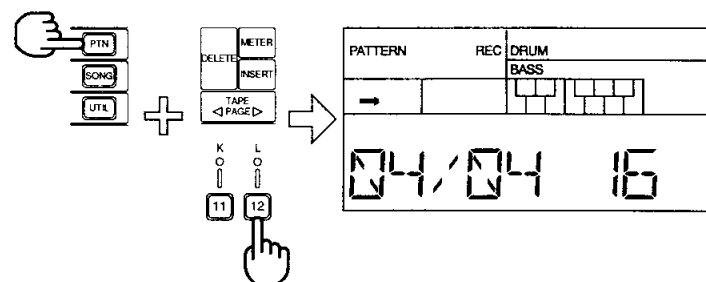
機能	パターンを作るための拍子と最小音符を設定する		
	設定	METER 1/4~15/16	

解説

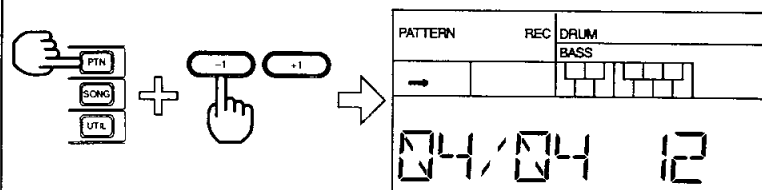
これから作成するパターンの拍子と最小音符の長さを設定する機能です。設定は34種類の拍子と最小音符の組合せの中から選びます。LCD表示の左側は拍子を、右側は最小音符を表しています。最小音符の設定値と最小音符の関係は、137ページの表をご覧ください。基本パターンとフィルパターンで1つのメーター設定値を共有しています。

手順

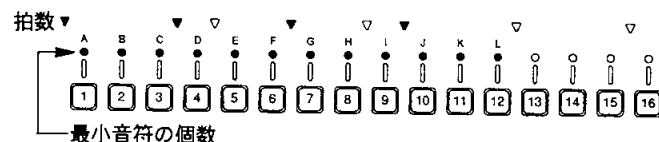
- ① 基本パターンとフィルパターンにデータの入っていない空のパターン (EMPTYと表示されます) を選び、パターンレコードモードにします。
- ② PTNキーを押しながら [12] (METER) を押します。



- ③ PTNキーを押したまま、-1/+1キーを押して拍子と最小音符の設定をします。



PTNキーを押したまま、-1/+1キーを押すごとに拍子と最小音符の設定が変わります。



- LEDと▽LEDの点灯により、最小音符と拍数を確認することができます。
○LEDの点灯箇所は最小音符の個数を示し、▽LEDの点灯箇所は拍数（ビート）を示します。

- ④ PTNキーを離すとパターンレコードモードに戻ります。



同じパターンナンバーの基本パターンかフィルパターンのいずれかにパターンデータが既に書き込まれている場合は、パターンをクリアしてメーターを変更してください。



パターン、ソングの演奏中やリアルタイムライト中以外であれば、いつでも設定することができます。拍子と最小音符を設定したいパターンを指定しないで拍子と最小音符の設定機能を選んだ場合（①の操作をせずにいきなり拍子と最小音符の設定を選んだ場合）、拍子と最小音符の設定できるパターンは直前に選ばれたパターンになります。

<拍子と最小音符の設定>

拍子	最小音符	拍子	最小音符	拍子	最小音符
1/4	12	1/8	16	1/16	16
1/4	16	1/8	24	1/16	32
1/4	24	1/8	32	3/16	16
1/4	32	3/8	16	3/16	32
2/4	12	3/8	24	5/16	16
2/4	16	3/8	32	5/16	32
2/4	24	5/8	16	7/16	16
2/4	32	5/8	24	7/16	32
3/4	12	7/8	16	9/16	16
3/4	16			11/16	16
4/4	12			13/16	16
4/4	16			15/16	16
5/4	12				

<最小音符の設定値と最小音符の関係>

設定値	最小音符
12	
16	
24	
32	

02: スイング機能を使う

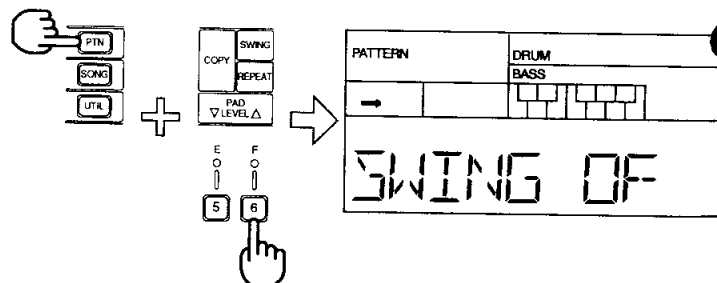
機能	スイング機能を設定する		
設定	SWING	OF, E1~E9 S1~S5	

解説

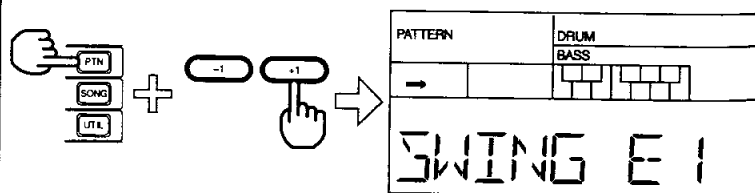
通常のリズムを弾んだリズムに置き換えます。8分音符を処理する設定(E1~E9)と16分音符を処理する設定(S1~S5)があります。OFFにすると元に戻ります。

手順

- ① パターンプレイモードにして、スイング機能を設定したいパターンを選びます。
- ② PTNキーを押しながら [6] (SWING) を押して、スイングにします。



- ③ PTNキーを押したまま -1/+1キーを数回押して、リズムの弾み具合を設定します。



- ④ PTNキーを離すとパターンプレイモードに戻ります。

<スイングの設定>

8分音符に対する設定			16分音符に対する設定		
表示	スイング量	発音のミヅ	表示	スイング量	発音のミヅ
OF	0		OF	0	
E1	+1		S1	+1	
E2	+2		S2	+2	
E3	+3		S3	+3	
E4	+4		S4	+4	
E5	+5		S5	+5	
E6	+6				
E7	+7				
E8	+8				
E9	+9				

スイング量は裏拍が後へずれる量で、♪/24ずつずれることになります。



8分音符に対して16分音符を処理する設定をしたり、16分音符に対して8分音符を処理する設定をしても無効になります。

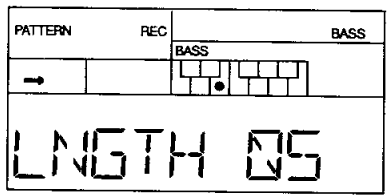
パターンの拍子が3連、6連系(最小音符の設定を表示する右側の数値が12、24)の場合は設定をしても無効になります。



パターン、ソングの再生中やリアルタイム中以外であれば、いつでも設定することができます。スイング機能を設定したいパターンを指定しないでスイング機能を選んだ場合(①の操作をせずにいきなりスイング機能を選んだ場合)、スイング機能の設定ができるパターンは直前にパターンプレイモードで選択したパターンになります。

2. 複雑なベースパターンの入力

01 : ベースの音の長さを設定する (ノートレングス)

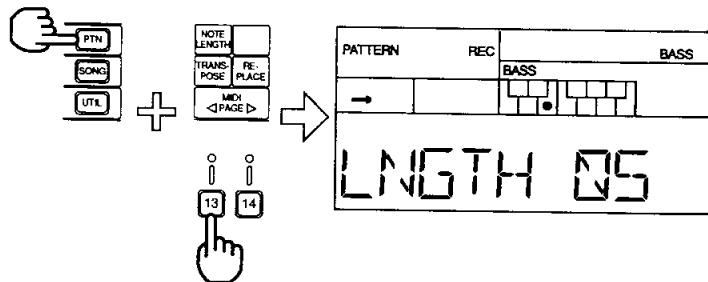
機能	ベース音の音価の設定	
設定	NOTE LENGTH 00~95	

解説

ベース音の鳴り響いている長さを設定できます。ベースのパターン入力を行った後に設定します。

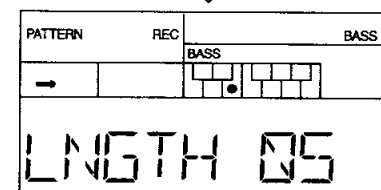
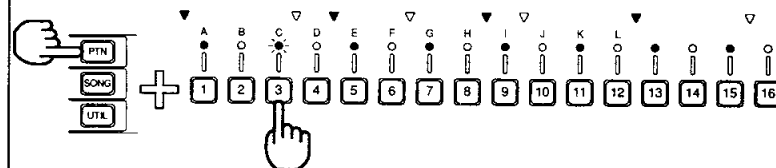
手順

- ① ベース音の入力されたパターンを選び、パターンレコードモードにします。
- ② 音色グループをベースにします。
- ③ PTNキーを押しながら [13] (NOTE LENGTH) を押して、ベース音の長さの設定にします。

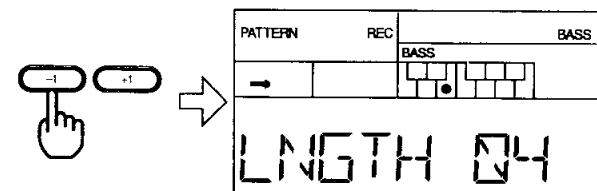


2. 複雑なベースパターンの入力

- ④ PTNキーを押したまま、ベース音の長さを設定したいステップのビートキーを押すと該当するビートキーの上の○LEDが点滅し、音の長さの設定が表示されます。



- ⑤ -1/+1キーを押してベースの音の長さを設定します。



- ⑥ PTNキーを離すとパターンレコードモードに戻ります。



設定値が大きくなるほど音の長さは長くなり、値が小さくなるほど音の長さは短くなります。設定値を大きくして音の長さを長くしても、次の音が鳴ると前の音は消えます。



パターン、ソングの再生中やリアルタイムライト中以外であれば、いつでも設定することができます。ベースの音の長さを変更したいパターンを指定しないでベースの音の長さの設定機能を選んだ場合 (①の操作をせずにいきなりベースの音の長さの設定機能を選んだ場合)、ベースの音の長さの設定ができるパターンは直前にパターンプレイモードで選択したパターンになります。

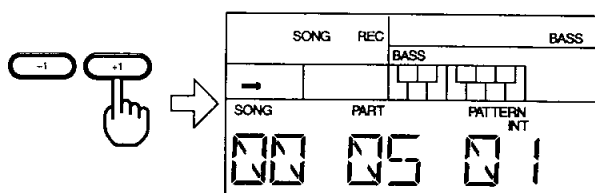
02: ベース音を移調する (トランスポーズ)		
機能	ソングのパートごとにベース音の移調を設定する	
設定	TRANSPPOSE	-12~+12

解説

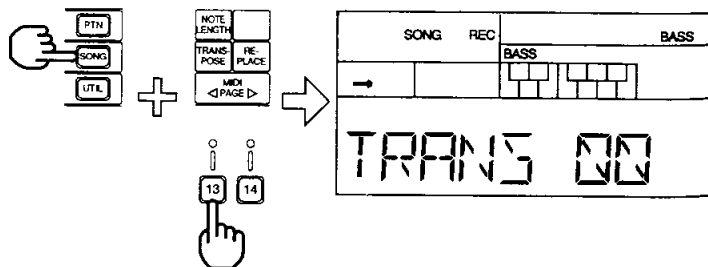
ベース音の移調をパートごとに設定する機能です。半音ずつ移調でき、元の音より±1オクターブまで移調可能です。この機能を使うとCで作ったベースをFやGで演奏させることができます。

手順

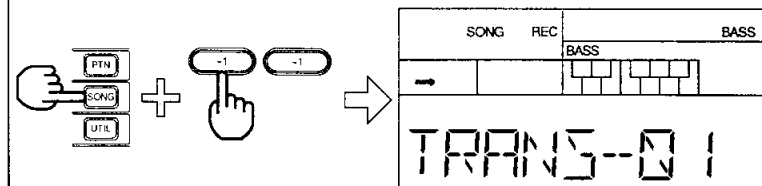
- ① ベースパターンを使用したソングを選び、ソングレコードモードにします。
- ② -1/+1キーでベース音を移調するパートを指定します。



- ③ SONGキーを押しながら [13] (TRANSPPOSE) を押してトランスポーズにします。



- ④ SONGを押したまま、-1/+1キーを押して移調する値を設定します。



- ⑤ SONGキーから手を離すとソングレコードモードに戻ります。

ベースの移調は半音ごとに設定でき、負の値で低くなり、正の値で高くなります。0で元の調になります。

ベース音の演奏データを移調すると、ディスプレイの音階表示も移調された音程で表示されます。

ベース音をトランスポーズする方法は2つあります。

- ① パートごとに設定する (ソングレコードモード)
「トランスポーズ」を参照 (P142)
- ② すべてのソング、すべてのパターンに対し、一度に設定する (ユーティリティモード)
「システムトランスポーズ」を参照 (P144)

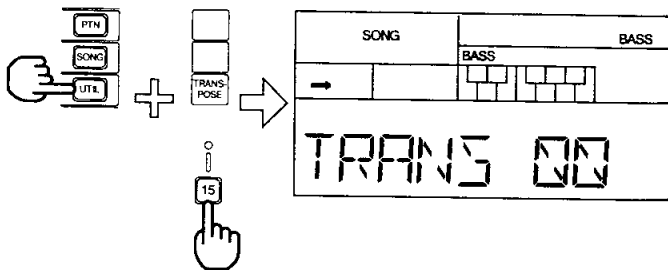
03: ベース音を移調する (システムトランスポーズ)		
機能	パターンとソング全体の、ベース音の移調を設定する	
設定	TRANSPOSE	-12 ~ +12

解説

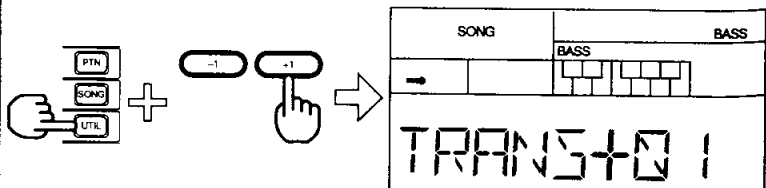
パターン、ソング作成中や作成後、パターン、ソングに入力されているすべてのベース音のデータを移調する機能です。半音ずつ移調でき、元の音より±1オクターブまで移調可能です。この機能はベース音色自体を変化させますので、パッドをたたいて鳴らした時やMIDIを使って鳴らした時にも有効です。

手順

- ① UTILキーを押しながら [15] (TRANSPOSE) を押してベース音のトランスポーズにします。



- ② UTILキーを押したまま、-1/+1キーを押してトランスポーズする値を設定します。



ベースの移調は半音ごとに設定でき、負の値で低くなり、正の値で高くなり、0で元の調になります。

この機能を設定すると、作成済みの全てのソングと全てのパターンに有効です。パターン、ソングの演奏中やステップライト、リアルタイムライト中にも設定できます。



ベース音をトランスポーズする方法は2つあります。

- ① パートごとに設定する (ソングレコードモード)
「トランスポーズ」を参照 (P142)
- ② すべてのソング、すべてのパターンに対し、一度に設定する (ユーティリティモード)
「システムトランスポーズ」を参照 (P144)

2. 複雑なベースパターンの入力

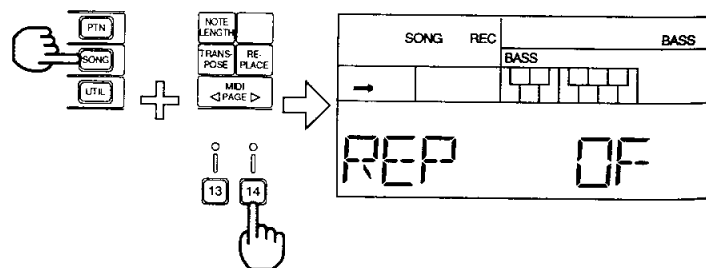
04 : ベース音のみ別のパターンを鳴らす (リプレイス)		
機能	ソング作成後にベースパターン のリプレイスを設定する	
設定	REPLACE	OF, PRE 00~49 INT 00~49

解説

ソングを作った後でベース音のみ別のパターンを鳴らしたい時に使います。
ドラムパターンが同じでベースパターンのみ置き換えたい場合に使います。
パートで設定されているベースパターンより置き換えたいベースパターンの長さが短い場合には、置き換え演奏終了後、元のベースパターンが演奏されます。

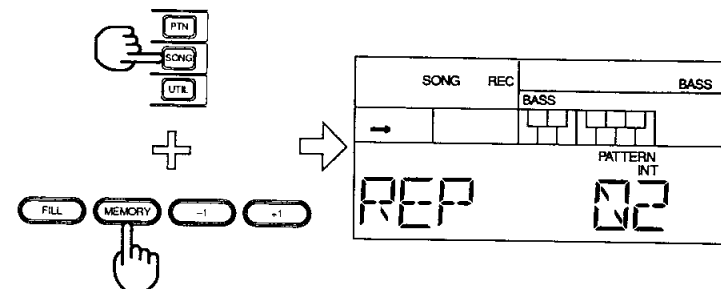
手順

- ① ソングレコードモードにし、ベースパターンを置き換えたいパートを表示します。
- ② SONG キーを押しながら [14] (REPLACE) を押してリプレイスにします。



2. 複雑なベースパターンの入力

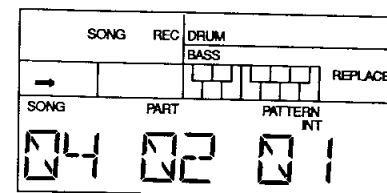
- ③ SONG を押したまま MEMORY キー、FILL キー、-1/+1 キーを押して、置き換えたいベースパターンの入っているパターンナンバーを設定します。



-1/+1 キーを押してパターンナンバーをパートで設定しているナンバーと同じにすると、設定値欄に OF と表示され、設定がキャンセルされます。

- ④ SONG キーから手を離すとソングレコードモードに戻ります。

設定済みのパートは、ソングの再生時や作成時に REPLACE と表示されます。



元パターンにスイング設定されていると、リプレイスされたパターンも元パターンと同じスイングで演奏されます。

3. クレシェンドの入力

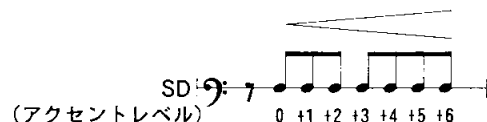
クレシェンド・デクレシェンド		
機能	アクセントレベルを応用して、クレシェンドの設定をする	
設定	ACCENT	-7~+7

PATTERN PAD BANK	DRUM BASS
→	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 20px; height: 20px; border: 1px solid black;"></div> <div style="width: 20px; height: 20px; border: 1px solid black;"></div> <div style="width: 20px; height: 20px; border: 1px solid black;"></div> <div style="width: 20px; height: 20px; border: 1px solid black;"></div> </div>

ACC
A+7

解説

アクセントレベルは、パッドごとに1種類しか設定できません。パターンにクレシェンドやデクレシェンドを設定したい時は、複数のパッドに同じ音色を割り当て、異なるアクセントレベルを設定して、パターンを作ってください。



手順

- ① PAD EDITで複数のパッドに同じ音色を割り当てます。
- ② PAD EDITで複数のパッドに異なるアクセントレベルを設定します。
- ③ パターンレコードモードでアクセントを付け、パターンを録音します。



PAD EDITのチェイスの設定は必ずONにして使用してください。

4. 音色に厚みをだす

音色を厚くする		
機能	チューンやボイスアサインを応用して、音色を厚くする	
設定	TUNE	-7~+7

PATTERN PAD BANK	DRUM BASS
→	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 20px; height: 20px; border: 1px solid black;"></div> <div style="width: 20px; height: 20px; border: 1px solid black;"></div> <div style="width: 20px; height: 20px; border: 1px solid black;"></div> <div style="width: 20px; height: 20px; border: 1px solid black;"></div> </div>

TUNE
A
Q

解説

音色に厚みを出したい時は、音色を重ねます。方法は、同じ音色を別のパッドに割り当て、チューン（音程）をずらしたり、異なる音色を割り当てたパッドを同時に鳴らします。

手順

- ① PAD EDITで複数のパッドに同じ音色を割り当てます。
- ② PAD EDITで複数のパッドのチューンをずらして設定します。
- ③ パターンレコードモードで複数のパッドを同時に録音します。



同時に鳴らせるのは最高28音までです。

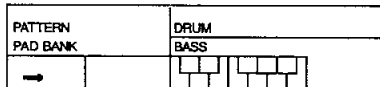
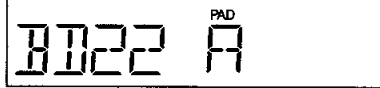


PAD EDITのチェイスの設定は必ずONにして使用してください。

5. 音色の差替え

MEMO

01：出来上がったパターンの音色を差替える

機能	パッドのボイスを選び直し、パターンの音色を差替える	
設定	VOICE 241音色 (DRUM, PERCグループ) 9音色 (BASSグループ)	

解説

パターンを作り、ソングを作った後で、実際に演奏した時、使った音色を変えたいと思うことがあります。その時は、パターンモードでパッドの音色の割り当てを変えると、効率良く音色を差替えられます。

手順

- ① パターンプレイモードで、音色を差替えたいパターンを選びます。
- ② PAD EDIT で音色を選び直します。
- ③ 空いているパターンにコピーします。
- ④ ソングレコードモードでパターンを差替えます。



PAD EDIT のチェイスの設定はOFFにしてください。

1. MIDIについて

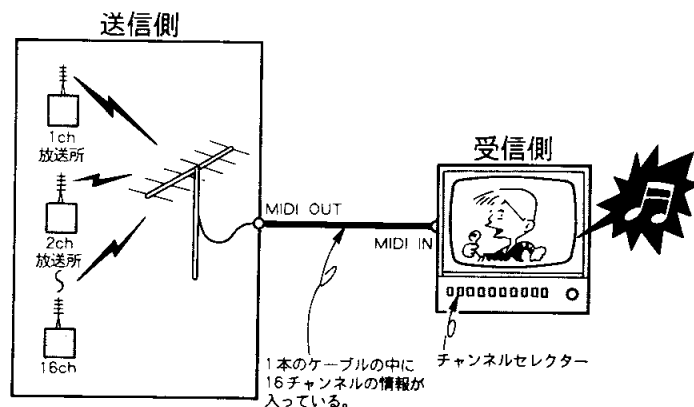
(1) MIDIとは？

[1] MIDIとは？

MIDIとは、Musical Insutrument Digital Interface”の略で、音楽演奏情報や音色の切り替え情報等を電子楽器同志で伝えるための世界統一規格です。MIDI規格に対応していれば、国内外のメーカを問わずどんな電子機器でも自由に情報のやりとりができます。

[2] MIDIチャンネル

MIDIは、1本のケーブルでシーケンサーやシンセサイザーなどの電子楽器16台分の信号を同時に送信することができます。この16に分かれた信号にチャンネルを付け区別します。MIDIのチャンネルとは、テレビのチャンネルのようなもので、1チャンネルで送ったものは、1チャンネルでしか受信できません。



(2) RY10で受信できるMIDI情報

MIDIには、演奏情報の他にも様々な種類のMIDI情報（メッセージ）があります。MIDI情報は、MIDIチャンネルごとに扱う情報（チャンネルメッセージ）とMIDIチャンネルに関係なく扱う（システムメッセージ）とに分けられます。

[1] MIDIチャンネルごとに扱う情報（チャンネルメッセージ）

演奏操作を伝える為の情報です。送信側と受信側でチャンネルを合わせる必要があります。

①ノート情報

キーボードでは鍵盤演奏時、リズムマシンではパッドをたたいた演奏情報がこれに当たります。

ノート情報には、次の4種類があります。

- ・ノートナンバー… ドラムの音の種類（鍵盤の音程を表す番号）
- ・ノートオン…パッドをたたく（鍵盤を弾く）
- ・ノートオフ…パッドから指を離す（鍵盤から指を離す）
- ・ベロシティ…パッドをたたく強さ（鍵盤を弾く強さ）

※ ノートナンバーは中央のC3を60とし、0~127の範囲で鍵盤の位置を示します。

RY10の場合、各パッドごとにノートナンバーが決められ、ノートナンバーの違いによって、パッドを鳴らしわけます。

②プログラムチェンジ

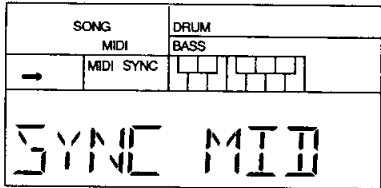
送信側の音色選択ボタンを押すと出力される情報です。受信側のキーボードの音色を切り替えることができます。今回は、パッドバンクを切り替える時に使います。

[2] MIDIチャンネルに関係なく扱う情報（システムメッセージ）

RY10で、同期演奏をする時に使う情報（テンポを合わせるためのタイミングクロックやスタート、ストップ・コンティニュースタート）があります。

01 : 同期演奏

機能	外部MIDI機器と同期演奏させる設定をする	
設定	SYNC	INT, MID

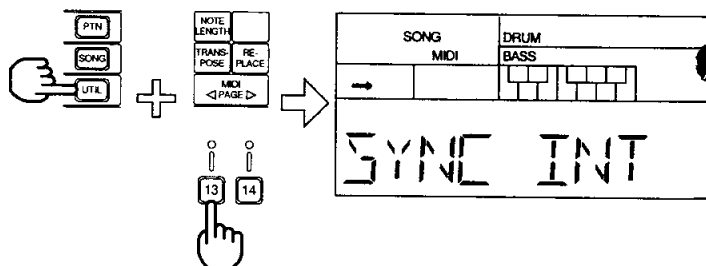


解説

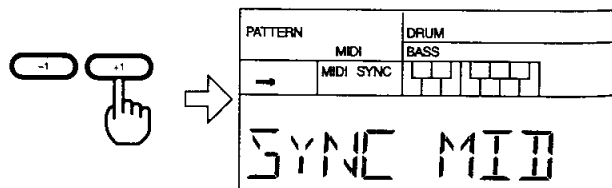
シーケンサー等の外部のMIDI機器とRY10を同期演奏させる機能です。外部のMIDI機器で、RY10のスタート/ストップやテンポをコントロールする時に使います。

手順

① UTILキーを押しながら、[13] または [14] (MIDI) を数回押し、SYNC にします。



② -1/+1キーを押してSYNCの設定をします。

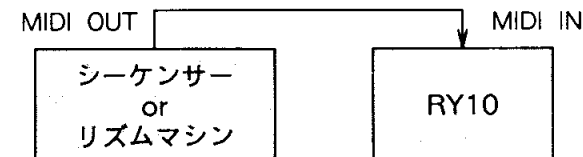


-1/+1キーを押すごとにMIDとINTが切り替わります。

同期演奏の設定表示

- ・INT (INTERNAL) … RY10 本体で設定したテンポで演奏します。(同期しません)
- ・MID (MIDI) … 外部MIDI機器からのタイミングクロック (同期信号) に同期して演奏します。

接続の仕方



パターン、ソングの再生中やリアルタイムライト中には設定できません。

SYNC MID に設定している時は、RY10 単独ではパターンやソングの再生はできません。

3. MIDI 音源として使う

01 : ドラム受信チャンネル		
機能	ドラムレシーブチャンネルを設定します	
設定	DRUM Rcv. ch	0F, 01~16

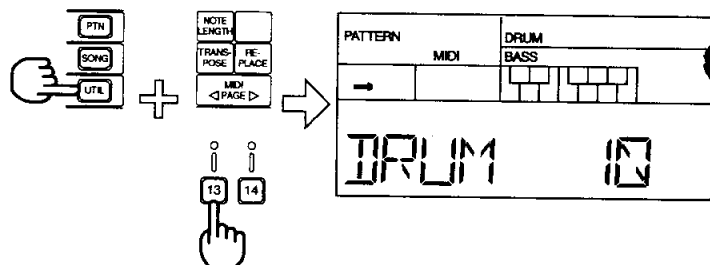
PATTERN	MIDI	DRUM BASS
→		
DRUM		10

解説

外部MIDI機器からの演奏情報を使って、RY10をドラム音源として鳴らすことができます。送信側のチャンネルに合わせてMIDI受信チャンネルを設定します。

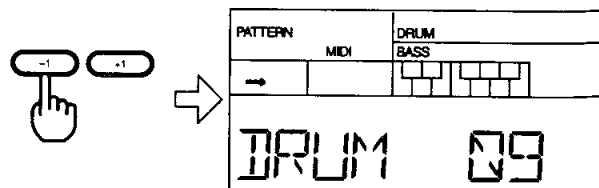
手順

- ① UTIL キーを押しながら、[13] または [14] (MIDI) を数回押し、DRUM にします。



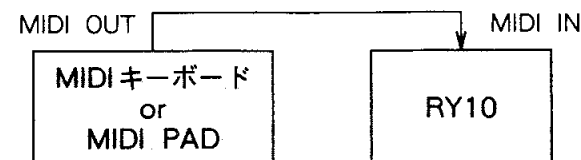
- ② -1/+1 キーを押して受信チャンネルを設定します。

-1/+1 キーを押す毎に受信チャンネルの設定が変更できます。



3. MIDI 音源として使う

接続の仕方



ドラムとベースは別のチャンネルを設定する事ができます。つまり、RY10を2つのMIDI音源として使用することができます。

MIDIチャンネルをOFFに設定すると、外部MIDI機器から、ドラム音源としてコントロールできなくなります。

パターン、ソングの演奏中やリアルタイムライト中には設定できません。

02: ベース受信チャンネル		
機能	ベースレシーブチャンネルを設定します	
設定	BASS Rcv. ch	0F, 01~16

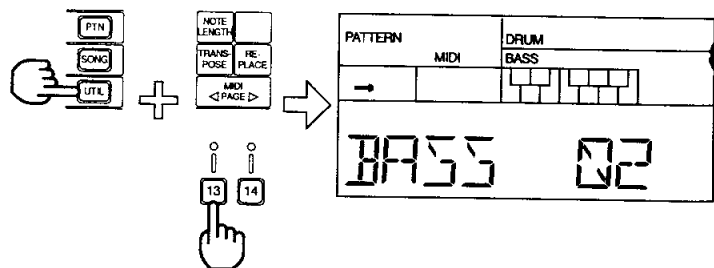
PATTERN	MIDI	DRUM BASS
→		□ □ □ □ □ □ □ □
BASS 02		

解説

外部MIDI機器からの演奏情報を使って、RY10をベースの音源として鳴らすことができます。送信側のチャンネルに合わせてベースのMIDI受信チャンネルを設定します。

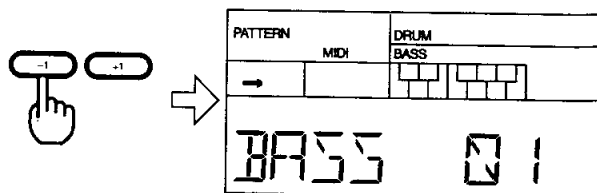
手順

- ① UTILキーを押しながら、[13] または [14] (MIDI) を数回押し、BASSにします。

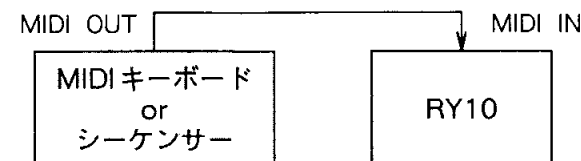


- ② -1/+1キーを押して受信チャンネルを設定します。

-1/+1キーを押すごとに受信チャンネルの設定ができます。



接続の仕方



MIDIチャンネルをOFFに設定すると、外部MIDI機器から、ベース音源としてコントロールできなくなります。

パターン、ソングの演奏中やリアルタイムライト中には設定できません。

ドラムとベースの両受信チャンネルを同じチャンネルにすると、ドラムの受信チャンネル機能が優先されます。

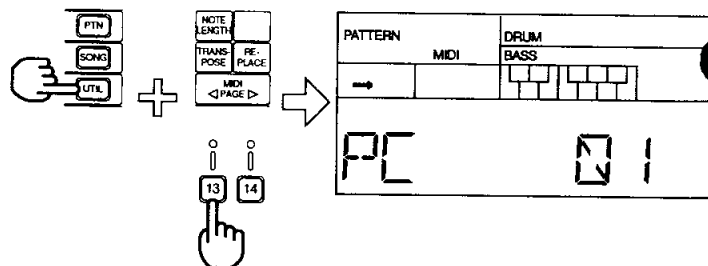
03: パッドの音色をコントロールする (プログラムチェンジ受信チャンネル)		
機能	パッドバンク切替のレシーブチャンネルを設定します	
設定	PC Rcv. ch	0F, 01~16

解説

外部MIDI機器からの音色切替情報を使って、音色 (パッドバンク) の切り替えを行うための受信チャンネルの設定を行います。送信側の音色選択ボタンを押すとパッドバンクを切り替えることができます。

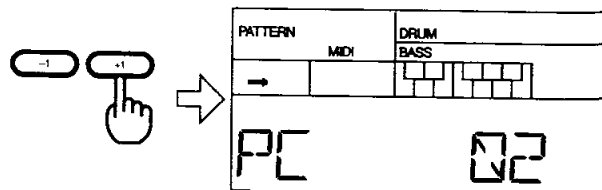
手順

- ① UTILキーを押しながら、[13] または [14] (MIDI) を数回押し、プログラムチェンジにします。



- ② -1/+1キーを押して受信チャンネルを設定します。

-1/+1キーを押す毎に受信チャンネルの設定が変更できます。



- ③ 音色切替の情報を受信するとパッドバンクナンバーが変わり、音色も切り替わります。

MIDIチャンネルをOFFに設定すると、パッドバンク切替のコントロールがなくなります。

パターン、ソングの演奏中やリアルタイムライト中には設定できません。

プログラムチェンジナンバー	パッドバンクナンバー
0	INT 00
↓	↓
15	INT 15
↓	↓
16	PRE 00
↓	↓
31	PRE 15
↓	↓
32	無視
↓	↓
127	

04 : MIDI ノートナンバー											
機 能	パッドごとにノートナンバーを設定する										
設 定	NOTE NUMBER 000~127, OFF	<table border="1"> <thead> <tr> <th>PATTERN</th> <th>MIDI</th> <th>DRUM BASS</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>NOTE</td> <td>035</td> <td>PAD A</td> </tr> </tbody> </table>	PATTERN	MIDI	DRUM BASS	-			NOTE	035	PAD A
PATTERN	MIDI	DRUM BASS									
-											
NOTE	035	PAD A									

解 説

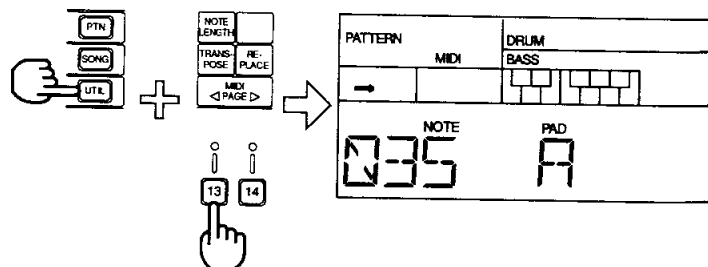
RY10は、各パッドに鍵盤の番号（ノートナンバー）が割り当てられています。外部から送信されるノートナンバーによってバスドラムのセットされているパッドであるとか、シンバルのセットされているパッドである等の判断をします。



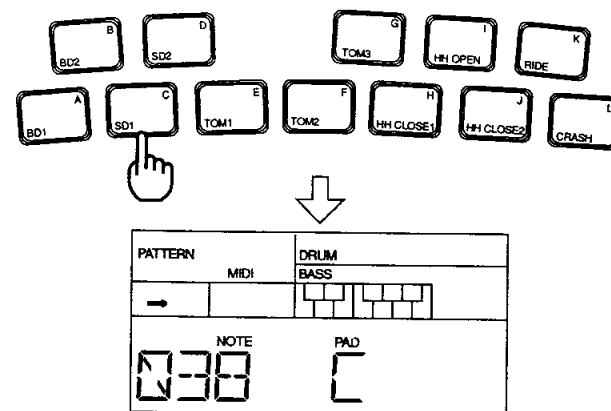
MIDI ノートナンバーは、各パッドバンクで共有しています。パッドバンクごとに異なる MIDI ノートナンバーを設定することはできません。MIDI で異なるパッドバンクに設定した音色を演奏したい場合は、プログラムチェンジを併せてご使用ください。（参照 P160）

手 順

- ① UTIL キーを押しながら、[13] または [14] (MIDI) を数回押し、NOTE にします。

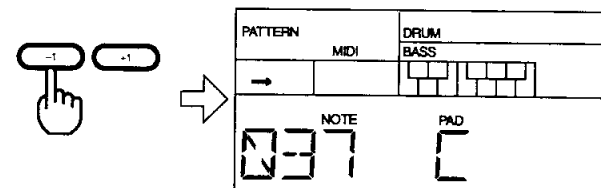


- ② ノートナンバーを設定したいパッドを選びます。



- ③ -1/+1 キーを押してノートナンバーを設定します。

-1/+1 キーを押すごとにノートナンバーの設定が変更できます。



パッドを押したままの状態、パッドに割り当てられた音色が表示されます。ノートナンバーで任意の音色を鳴らすためには、予め鳴らしたい音色をパッドに割り当てておかなくてはなりません。つまり、パッドに割り当てられていない音色は外部から鳴らすことはできない訳です。パターン、ソングの演奏中やリアルタイムライト中には設定できません。

資料

故障かなと思う前に	166
エラーメッセージ	167
仕 様	168
音色一覧	169
プリセットパターンリスト	170
プリセットパッドバンクリスト	171
MIDI データフォーマット	172
MIDI インプリメンテーションチャート	174

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。	ACアダプターの差し込みが不完全。 (乾電池未セット時)	ACアダプターを確実に差し込んで下さい。(P16参照)
	乾電池が入っていない。 (ACアダプター未セット時)	乾電池をセットして下さい。 (P15参照)
	乾電池の極性が逆。	乾電池の極性を確認して下さい。 (P15参照)
音が出ない。	ボリュームスライダーが下がっている。	適当な音量になるようにボリュームスライダーを調節して下さい。 (P18参照)
	パッドのレベル(音量)が低すぎる。	適当な音量になるように、パッドのレベルを調節して下さい。 (P120参照)
	スピーカーのスイッチがオフになっている。	スピーカーのスイッチをオンにして下さい。
START/GOキーを押しても、パターン、ソングが演奏されない。	データの入っていないパターンデータ又はソングデータを選んだ。	データの入っているナンバーを指定して下さい。(P60、P89参照)
	MIDIシンクの設定がMIDIになっている。	MIDIシンクの設定をインターナルにして下さい。(P154参照)
拍子の設定ができない。	作成済みのパターンデータは再設定できない。	一度パターンデータを消去した上で、作成しなおして下さい。(P135参照)
パターンの書き込みができない。	記憶容量を使いきっている。	不要なパターンを消去して下さい。 (P50参照)
パターンの演奏をスタートするとテンポが変化する。	パターンのイニシャルテンポが設定されている。	パターンのイニシャルテンポをOFFにして下さい。(P67参照)
ソングデータの再生の際、途中で停止してしまう。	データの入っていないパターンデータが入力されている。	ストップしてしまうパートの前後をチェックして修正して下さい。
ソングの演奏をスタートするとテンポが変化する。	ソングのイニシャルテンポが設定されている。	ソングのイニシャルテンポをOFFにして下さい。(P82参照)
ソングの演奏が終了したら、他のソングが自動的にスタートする。	ソングのチェーンが設定されている。	ソングのチェーンを解除して下さい。 (P94参照)
パターン入力した時の音色で再生されない。	チェイスの設定がOFFになっている。	チェイスの設定をONにして下さい。 (P132参照)
カセットからデータを読み込ませたら(ロード)音色が変わってしまった。	カセットからデータを読み込ませると、音色のデータも書き替えられる。	
外部MIDI機器から音が鳴らせない。	MIDIチャンネルの設定が合っていない。	MIDIチャンネルの設定を合わせて下さい。(P156参照)
	MIDIノートナンバーの設定が合っていない。	MIDIノートナンバーの設定を合わせて下さい。(P162参照)

PRESET

RY10のプリセットデータをエディットしようとする時と現われます。プリセットデータはエディットできません。インターナルデータをエディットしてください。

MEM FULL

RY10のメモリー残量が足りない時、設定されたコマンドが実行できないことを示しています。余分なパターンやソングのデータを削除してください。

MIDI FULL

RY10に入ってくるのMIDIデータが多すぎると現われます。RYに不要なデータは、できる限り送り込まないでください。

I LLEGAL

RY10に設定しようとした値が正しくないと現れます。正しい範囲の値を設定してください。

SAVE BRK

RY10の全データを、カセットテープへ保存し始め、操作を中断すると現れます。データセーブを最初からやり直してください。

VRFY BRK

カセットテープに保存された全データの照合作業を中断すると現れます。データベリファイを最初からやり直してください。

VRFY ERR

カセットテープに保存された全データの照合作業がうまくいかなかったことを示しています。録音レベルやカセットテープを換えて、セーブ作業からやり直してください。

LOAD BRK

カセットテープに保存されている全データの読み込み作業を中断すると現れます。データロードを最初からやり直してください。

LOAD ERR

カセットテープに保存されている全データの読み込み作業がうまくいかなかったことを示しています。データロードを最初からやり直してください。

BAT ERR1

使用中の乾電池が消耗すると現れます。音が歪んだりする場合があります。速やかに新しいものと交換してください。電池を交換する際、データが消えることはありません。

BAT ERR2

電源ON時に、本体内のバックアップ用バッテリーが消耗すると現れ、工場出荷状態に戻ってしまいます。お買い上げ店か、ヤマハサービス拠点にお持ちください。

音源方式	AWM音源
最大同時発音数	28音
音色数	250音色 (ドラム & パーカッション 241音色) (ベース 9音色)
パターン	プリセット 基本パターン 50 フィルパターン50 インターナル 基本パターン 50 フィルパターン50 イニシャルテンが設定 スイング機能
ソング	インターナル 36 イニシャルテンが設定 リピート機能 チェイン機能 ベストランスボーズ機能 ベースリプレイス機能
テンポ	♩ = 40 ~ 250
分解能	録音時: ♩ = 8クロック 再生時: ♩ = 24クロック
パッドバンク	プリセット 16 インターナル 16
MIDI	レシーブチャンネル (Drum/Bass/PC) ノートナンバーアサイン シンク
ディスプレイ	LCD (カスタム) バックライトなし LED: 24
接続端子	ヘッドフォン (ステレオミニフォン) ラインアウト L/MONO & R (標準フォン) フットスイッチ (標準フォン) MIDI イン カセットデータ (ステレオミニフォン) 外部入力 (標準フォン) DCイン (別売 PA-1B用)
電源電圧	単三電池 6本 (約4時間) 9 ~ 12 V / 300 mA (別売 PA-1B)
外形寸法	196.5(W) × 197.8(D) × 36.3(H) mm
重量	0.7 kg
付属品	オーナーズマニュアル、単三電池 × 6

#	Voice	#	Voice	#	Voice	#	Voice	#	Voice
1	BD01	51	SD04	101	HHC7	151	TM7M	201	TRI2
2	BD02	52	SD05	102	HHC8	152	TM7L	202	WHSL
3	BD03	53	SD06	103	HHC9	153	TM7F	203	CABS
4	BD04	54	SD07	104	HHC01	154	TM8H	204	SHKR
5	BD05	55	SD08	105	HHC02	155	TM8M	205	ACW1
6	BD06	56	SD09	106	HHC03	156	TM8L	206	ACW2
7	BD07	57	SD10	107	HHC04	157	TM8F	207	ACW3
8	BD08	58	SD11	108	HHC05	158	TS1H	208	ACW4
9	BD09	59	SD12	109	HHC06	159	TS1M	209	FING
10	BD10	60	SD13	110	HHC07	160	TS1L	210	TIMH
11	BD11	61	SD14	111	RD01	161	TS2H	211	TIML
12	BD12	62	SD15	112	RD02	162	TS2M	212	SE01
13	BD13	63	SD16	113	RD03	163	TS2L	213	SE02
14	BD14	64	SD17	114	RD04	164	TS3H	214	SE03
15	BD15	65	SD18	115	RD05	165	TS3M	215	SE04
16	BD16	66	SD19	116	RD06	166	TS3L	216	SE05
17	BD17	67	SD20	117	CR01	167	TS3F	217	SE06
18	BD18	68	SD21	118	CR02	168	TS4H	218	SE07
19	BD19	69	SD22	119	CR03	169	TS4M	219	SE08
20	BD20	70	SD23	120	CR04	170	TS4L	220	SE09
21	BD21	71	SD24	121	CR05	171	TS5H	221	SE10
22	BD22	72	SD25	122	CR06	172	TS5M	222	SE11
23	BD23	73	SD26	123	CR07	173	TS5L	223	SE12
24	BD24	74	SD27	124	CR08	174	AG1H	224	SE13
25	BD25	75	SD28	125	CR09	175	AG1L	225	SE14
26	BD26	76	SD29	126	GONG	176	AG2H	226	SE15
27	BD27	77	SD30	127	TM1H	177	AG2L	227	SE16
28	BD28	78	SD31	128	TM1M	178	ACLP	228	SE17
29	BD29	79	SD32	129	TM1L	179	BNGH	229	SE18
30	BD30	80	SD33	130	TM1F	180	BNGL	230	SE19
31	BD31	81	SD34	131	TM2H	181	CG1H	231	SE20
32	BD32	82	SD35	132	TM2M	182	CG1S	232	SE21
33	BD33	83	SD36	133	TM2L	183	CG1M	233	SE22
34	BD34	84	SD37	134	TM3H	184	CG1L	234	SE23
35	BD35	85	SD38	135	TM3M	185	CG2H	235	SE24
36	BD36	86	SD39	136	TM3L	186	CG2S	236	SE25
37	BD37	87	SD40	137	TM3F	187	CG2M	237	SE26
38	BD38	88	SD41	138	TM4H	188	CG2L	238	SE27
39	BD39	89	SD42	139	TM4M	189	TKD1	239	SE28
40	BD40	90	SD43	140	TM4L	190	TKD2	240	SE29
41	BD41	91	SD44	141	TM4F	191	SURD	241	SE30
42	BD42	92	SD45	142	TM5H	192	FAJR	242	BAS1
43	BD43	93	SD46	143	TM5M	193	CLV1	243	BAS2
44	BD44	94	SD47	144	TM5L	194	CLV2	244	BAS3
45	BD45	95	HHC1	145	TM5F	195	COW1	245	BAS4
46	BD46	96	HHC2	146	TM6H	196	COW2	246	BAS5
47	BD47	97	HHC3	147	TM6M	197	COW3	247	BAS6
48	SD01	98	HHC4	148	TM6L	198	TMB1	248	BAS7
49	SD02	99	HHC5	149	TM6F	199	TMB2	249	BAS8
50	SD03	100	HHC6	150	TM7H	200	TRI1	250	BAS9

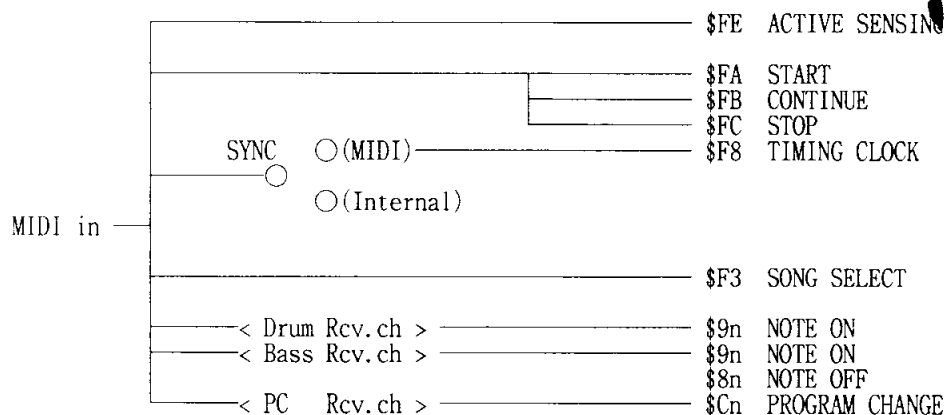
プリセットパターンリスト

	PATTERN STYLE	PAD BANK	TEMPO	METER	SWING
00	Funk1	10	108	4/4, 16	Off
01	Funk2	10	108	4/4, 16	Off
02	Funk Shuffle	1	84	2/4, 24	Off
03	Power Funk	11	96	4/4, 16	Off
04	Dance Funk	0	100	4/4, 16	S2
05	Fusion	1	116	15/16, 16	Off
06	Hip Hop1	4	96	4/4, 16	S2
07	Hip Hop2	4	94	4/4, 16	S2
08	Techno Pop	14	120	4/4, 16	Off
09	Techno	14	124	4/4, 16	Off
10	Rap1	9	90	4/4, 16	S2
11	Rap2	3	92	4/4, 16	Off
12	Rap3	9	100	4/4, 16	S1
13	Euro Beat1	13	124	4/4, 16	Off
14	Euro Beat2	13	124	4/4, 16	Off
15	House1	2	124	4/4, 16	Off
16	House2	2	124	4/4, 16	Off
17	House3	1	95	4/4, 16	S1
18	House4	13	105	4/4, 16	S1
19	Dance1	4	120	4/4, 16	Off
20	Dance2	7	120	4/4, 16	Off
21	Nu Age	11	70	2/4, 32	Off
22	African Thang	3	110	4/4, 16	S1
23	R & B1	15	98	4/4, 16	Off
24	R & B2	15	100	4/4, 16	S1
25	Zydeco	6	100	4/4, 16	Off
26	Blues Shuffle	1	114	2/4, 12	Off
27	12/8 Shuffle	5	96	4/4, 12	Off
28	Rock'n Roll1	6	136	4/4, 16	Off
29	Rock'n Roll2	11	120	4/4, 16	Off
30	Rock'n Roll3	8	120	4/4, 16	Off
31	Pop Rock1	1	124	2/4, 16	Off
32	Pop Rock2	6	116	4/4, 16	Off
33	Pop Rock3	6	115	4/4, 16	Off
34	Pop Rock4	11	110	4/4, 16	Off
35	Pop Rock5	11	110	4/4, 16	Off
36	Metal1	5	140	4/4, 16	Off
37	Metal2	5	124	4/4, 16	Off
38	Metal Shuffle	5	150	4/4, 16	S1
39	Reggae1	7	74	4/4, 16	S2
40	Reggae2	7	78	4/4, 16	S2
41	Bossa	6	64	4/4, 16	Off
42	Samba	8	120	4/4, 16	Off
43	Latin Funk	12	122	4/4, 16	Off
44	Latin (Songo)	12	136	4/4, 16	Off
45	Jazz Swing	8	144	4/4, 16	S1
46	Jazz Waltz	-8	140	3/4, 16	Off
47	3/4 Ballad	11	85	3/4, 16	Off
48	4/4 Ballad1	11	95	4/4, 16	Off
49	4/4 Ballad2	6	100	4/4, 16	Off

プリセットパッドバンクリスト

Pad	Bank	BD1 A	BD2 B	SD1 C	SD2 D	TOM1 E	TOM2 F	TOM3 G	HHC1 H	HHC2 I	HHC3 J	RIDE K	CR L
00 Ambient	Drum	BD22	BD34	SD26	SD22	TM7H	TM7M	TM7L	HHC2	HHC6	HHC8	RD04	CR08
	Perc	SE07	SE11	SE06	SE25	SE13	SE18	CABS	TMB1	COW2	TIML	SE05	TIMH
	Bass	BAS3											
01 Dry	Drum	BD08	BD10	SD15	SD35	TM1M	TM1L	TM1F	HHC3	HHC7	HHC4	RD01	CR01
	Perc	CG1H	CLV1	CG1M	CG1S	CG1L	TMB2	SHKR	TMB1	COW3	BNGH	FING	BNGL
	Bass	BAS2											
02 Analog	Drum	BD02	BD04	SD02	SD05	TS1H	TS1M	TS1L	HHC1	HHC1	HHC7	RD05	CR07
	Perc	SE02	CLV2	SE01	SE21	SE22	TMB2	FAJR	ACW3	ACW1	ACW2	ACLP	FING
	Bass	BAS4											
03 SE	Drum	BD44	BD07	SD10	SD44	TS3M	TS3L	TS3F	HHC5	HHC6	HHC9	RD04	CR06
	Perc	SE04	SE16	SE08	SE12	SE15	SE03	SE09	SE14	SE06	SE10	SE07	SE17
	Bass	BAS9											
04 Dance	Drum	BD24	BD32	SD17	SD08	TM6H	TM6M	TM6L	HHC4	HHC6	HHC3	RD01	CR05
	Perc	CG1H	CLV1	CG1M	CG1S	CG1L	TMB2	CABS	TMB1	COW1	TIML	ACLP	TIMH
	Bass	BAS1											
05 Heavy Rock	Drum	BD22	BD22	SD21	SD27	TM7M	TM7L	TM7F	HHC4	HHC2	HHC6	CR03	CR03
	Perc	SE04	SE11	SE08	SE12	SE13	SE18	COW2	TMB1	COW1	TIML	SE05	TIMH
	Bass	BAS5											
06 Light Rock	Drum	BD15	BD12	SD45	SD24	TM3M	TM3L	TM3F	HHC3	HHC7	HHC4	RD01	CR01
	Perc	CG1H	CLV1	CG1M	CG1S	CG1L	TMB2	CABS	TMB1	COW3	TRI2	SHKR	TRI1
	Bass	BAS2											
07 Reggae	Drum	BD35	BD33	SD46	SD33	TM4H	TM4M	TM4F	HHC6	HHC3	HHC2	RD02	CR04
	Perc	CG1H	CLV1	CG1M	CG1S	CG1L	TKD1	SHKR	TKD2	AG2H	TIML	AG2L	TIMH
	Bass	BAS6											
08 Jazz	Drum	BD18	BD17	SD46	SD38	TM1H	TM1M	TM1L	HHC6	HHC6	HHC3	RD06	RD03
	Perc	CG1H	CLV1	CG1M	CG1S	CG1L	TMB2	CABS	TMB1	FING	BNGH	SHKR	BNGL
	Bass	BAS2											
09 Rap	Drum	BD01	SE23	SD03	SE26	TS4H	TS4M	TS4L	HHC1	HHC1	HHC6	RD05	CR09
	Perc	SE20	CLV1	SE19	SE29	SE24	SE28	SE27	SE30	ACW1	SE26	ACLP	SE23
	Bass	BAS8											
10 Funk	Drum	BD37	BD36	SD40	SD12	TM2H	TM2M	TM2L	HHC3	HHC7	HHC4	RD02	CR01
	Perc	CG1H	CLV1	CG1M	CG1S	CG1L	TMB2	SURD	TMB1	COW1	SE18	ACLP	SE23
	Bass	BAS1											
11 Ballad	Drum	BD14	BD24	SD29	SD25	TM6M	TM6L	TM6F	HHC2	HHC6	HHC8	RD01	CR03
	Perc	CG1H	CLV1	CG1M	CG1S	CG1L	TMB2	CABS	TMB1	FING	TRI2	SHKR	TRI1
	Bass	BAS2											
12 Latin	Drum	BD21	BD09	SD11	SD18	TM3H	TM3M	TM3L	HHC5	HHC2	HHC3	RD02	CR01
	Perc	CG1H	CLV1	CG1M	CG1S	CG1L	BNGH	BNGL	TMB1	COW1	TIML	WHSI	TIMH
	Bass	BAS2											
13 Euro Beat	Drum	BD40	BD03	SD19	SD05	TM6H	TM6M	TM6L	HHC7	HHC7	HHC4	RD01	CR02
	Perc	SE02	CLV1	SE01	SE21	SE22	SE03	SHKR	TMB1	SE13	FAJR	ACLP	SE07
	Bass	BAS8											
14 Techno	Drum	BD38	BD26	SD06	SD23	TM8M	TM8L	TM8F	HHC8	HHC7	HHC4	RD05	CR08
	Perc	CG2H	SE11	CG2M	CG2S	CG2L	SE18	SE25	SURD	ACW4	AG1H	SE05	AG1L
	Bass	BAS7											
15 R&B	Drum	BD10	BD29	SD09	SD39	TM5M	TM5L	TM5F	HHC6	HHC6	HHC4	RD01	CR01
	Perc	CG1H	CLV1	CG1M	CG1S	CG1L	TMB2	CABS	TMB1	COW1	SHKR	ACLP	FING
	Bass	BAS1											

1. MIDI 受信条件



SYNC : Internal or MIDI Sync

Drum Rcv. ch : Receive Channel for Drum and Percussion Voice
off, 1...16

Bass Rcv. ch : Receive Channel for Bass Voice
off, 1...16

PC Rcv. ch : Receive Channel for Program Change
off, 1...16

2. 受信データ詳細

2.1 システムリアルタイムメッセージ

TIMING CLOCK	1111 1000	(F8H)
START	1111 1010	(FAH)
CONTINUE	1111 1011	(FBH)
STOP	1111 1100	(FCH)
ACTIVE SENSING	1111 1110	(FEH)

2.2 チャンネルメッセージ

2.2.1 ノートオン

2.2.1.1 受信ノート範囲

・Drum and Percussion Voice

各パッドには、以下のノートナンバーがアサインされており、ノートオンを受信すると、ボイスセレクトで設定したボイスが発音する。

GROUP	PAD NAME & MIDI NOTE NUMBER (工場出荷時データ、変更可)
DRUM	A=B0 (35) B=C1 (36) C=D1 (38) D=E1 (40) E=D2 (50) F=B1 (47) G=G1 (43) H=F#1 (42) I=A#1 (46) J=G#1 (44) K=D#2 (51) L=C#2 (49)
PERC	A=D#3 (63) B=D#4 (75) C=D3 (62) D=off E=E3 (64) F=off G=A3 (69) H=F#2 (54) I=G#2 (56) J=F#3 (66) K=D#1 (39) L=F3 (65)

・Bass Voice C1(36) ~ B3(71)

2.2.1.2 ベロシティ範囲

1 ~ 127 (ノートオンのみ受信)

注) Drum Rcv. ch と Bass Rcv. ch が同じ場合、Bass Voice は発音しない。

2.2.2 プログラムチェンジ

プログラムチェンジを受信したとき、
本機はパッドバンクナンバーを対応する番号に変更する。

Program Change #	Pad Bank #
0 . . . 15	Internal 0 . . . 15
16 . . . 31	Preset 0 . . . 15
32 . . . 127	無 視

Function ...	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Default	: x	: 1 - 16	: memorized
Channel Changed	: x	: 1 - 16	
Default	: x	: 3	
Mode Messages altered	: x	: x	
Mode	: x	: x	
Note	: x	: 0-127/36-71 *1:	
Number : True voice	: *****	: x	
Velocity Note ON	: x	: 0 9nH, v=1-127	
Note OFF	: x	: x	
After Key's	: x	: x	
Touch Ch's	: x	: x	
Pitch Bender	: x	: x	
Control			
Change			
Prog	: x	: 0 0 - 31	: pad bank select
Change : True #	: *****	: x	
System Exclusive	: x	: x	
: Sont Pos.	: x	: x	
: Song Sel.	: x	: 0 0 - 35	
: Tune	: x	: x	
System : Clock	: x	: 0	
Real Time : Commands	: x	: 0	
Aux : Local ON/OFF	: x	: x	
: All Notes OFF	: x	: x	
Mes- : Active Sense	: x	: 0	
sages:Reset	: x	: x	
Note : *1 = Drum and percussion voice			
=a different voice sounds by each note.			
Bass voice			
=single voice sounds over a three-octave range.			
(Note# range:36-71)			
Mode 1 : OMNI ON, POLY	Mode 2 : OMNI ON, MONO		o : Yes
Mode 3 : OMNI OFF, POLY	Mode 4 : OMNI OFF, MONO		x : No

索引

操作別索引 178

操作別索引

内 容	ページ
アクセントをつけたい (パターンレコード)	21
アクセントレベルを設定したい	124
色々な音を聴きたい (パッド切替)	22
音程を変えたい (チューン)	128
音量を変えたい (レベル)	120
クレシェンドを入力したい	148
最終パートへ移動したい	88
スイング機能を使いたい	138
ステップライトをしたい (パターンレコード)	59
ステップライトをしたい (ソングレコード)	75
ステップライトでの不要音の削除や挿入をしたい (パターンレコード)	65
ソングの演奏をしたい (ソングプレイ)	89
ソングの繰り返し演奏をしたい (ソングリピート)	92
ソングの連続演奏をしたい (ソングチェイン)	94
ソングをコピーしたい	96
ソングを消去したい (ソングクリア)	73
チューナー機能を使いたい	111
テンポを設定したい (システムテンポ)	107
テンポを設定したい (ソングイニシャルテンポ)	82
テンポを設定したい (パターンイニシャルテンポ)	67
データ保存の確認をしたい (ベリファイ)	102
データを保存したい (セーブ)	100
データを読み込みたい (ロード)	104
デモソングを聴きたい	18
同期演奏をしたい	154
音色に厚みをだしたい	149
音色を差し替えたい	150
パートを削除したい (デリートパート)	78
パートを挿入したい (インサートパート)	80
パターンを演奏したい (パターンプレイ)	60
パターンをコピーしたい (パターンコピー)	68
パターンを消去したい (パターンクリア)	50
パッドに好きな音色を割り当てたい (ボイスアサイン)	122
パッドバンクを切り替えたい (パッドセレクト)	118

操作別索引

内 容	ページ
パッドバンクをコピーしたい	130
パンを設定したい	126
拍子と最小音符の設定をしたい (メーター)	135
フィルパターンに切り替えるタイミングを設定したい	77
フットスイッチでコントロールしたい	109
プリセットパターンを演奏したい	28
ベース音の長さを設定したい (ノートレングス)	140
ベース音を移調したい (システムトランスポーズ)	144
ベース音を移調したい (トランスポーズ)	142
ベースパートをミュートしたい	108
ベースパターンのみ別のパターンを鳴らしたい (リプレイス)	146
MIDIで音色を替えたい (プログラムチェンジ受信チャンネル)	160
MIDIで音色を替えたい (MIDIノートナンバー)	162
MIDIを設定したい (ドラム受信チャンネル)	156
MIDIを設定したい (ベース受信チャンネル)	158
リアルタイムライトでの不要音の削除や挿入をしたい (パターンレコード)	63
リアルタイムライトをしたい (パターンレコード)	59
リアルタイムライトをしたい (ソングレコード)	83

サービスについて

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年です。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません。) また保証は日本国内においてのみ有効といたします。

●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お名前、お買い上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

●保証書は大切にしましょう!

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまにご購入の日から向う1ヶ年間の無償サービスをお約束申しあげるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただくことになります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますよう充分ご配慮のうえで保管してください。また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種別の判別や、サービス依頼店の確認などで便利にご利用いただけます。

●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご連絡いただきますと、技術者が修理・調整いたします。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合もあります。またお買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ店あるいは右記のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申しあげますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

満1ヶ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。) そのほかご不明な点などございましたら、右記のヤマハ電気音響製品サービス拠点までお問い合わせください。

ヤマハ電気音響製品サービス拠点

修理受付および修理品お預り窓口

北海道サービスセンター	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL (011) 513-5036
仙台サービスセンター	〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL (022) 236-0249
新潟サービスセンター	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL (025) 243-4321
東京サービスセンター	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F TEL (03) 3255-2241
首都圏サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL (044) 434-3100
浜松サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL (053) 465-6711
名古屋サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F TEL (052) 652-2230
大阪サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内 TEL (06) 877-5262
神戸サービスセンター	〒650 神戸市中央区元町通2-7-3 ヤマハ(株)神戸店内7F TEL (078) 321-1195
四国サービスセンター	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内 TEL (0878) 22-3045
広島サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2-27-39 TEL (082) 874-3787
九州サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472-2134
(本社)	
カスタマーサービス部	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL (053) 465-1158

デジタル楽器に対するお問い合わせ窓口

北海道支店 LM営業課	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL (011) 512-6113
仙台支店 LM営業課	〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 TEL (022) 222-6147
東京支店 LM営業課	〒104 東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル TEL (03) 3574-8592
関東支店 LM営業課	〒104 東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル TEL (03) 3574-8592
名古屋支店 LM営業課	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL (052) 201-5199
大阪支店 LM営業課	〒542 大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋ブラザビル東館 TEL (06) 252-5231
広島支店 LM営業課	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 ヤマハビル TEL (082) 244-3749
九州支店 LM営業課	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472-2130
国内営業統括本部	
LM営業部	〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル
デジタル楽器営業課	TEL (03) 5568-2935

●所在地・電話番号などは変更されることがあります。

ヤマハ株式会社